

# あいち 食育いきいきレポート2023



2023年7月 愛知県食育推進会議

# はじめに

愛知県では、食育基本法に基づき、県民一人一人が食の大切さを理解して、主体的に食育に取り組むための指針として、2021年3月に第4次愛知県食育推進計画である「あいち食育いきいきプラン2025」を作成しました。

このプランで掲げた「これまでの取組の継承とSHIN化」により食育の実践力を高めていくために、知事を会長として、学識経験者、教育関係者、保育・社会福祉関係者、医療・保健関係者、農林水産業関係者、食品関連事業・企業関係者、消費者団体関係者等により構成される「愛知県食育推進会議」を中心に、県、市町村、団体、事業者などがそれぞれの役割と特性を生かし、様々に連携・協力しながら継続的な県民運動として食育活動を展開しています。

この度、2022年度に行われた県内の食育の取組の中から、特に①新規の取組又は5年以上継続して行われている取組、②新しい生活様式・デジタル化に対応した取組③他の機関と連携して行われた取組などをレポートとして取りまとめました。

本書が皆さんの食育活動の幅を広め、それぞれの地域にあった食育推進の一助となれば幸いです。

## 各マークの説明



**健康な体**



**豊かな心**







**環境に優しい暮らし**



**食育を支える**

# 目次

章	項目	ページ 番号
I	「あいち食育いきいきプラン2025」について	3
II	特集「第17回食育推進全国大会inあいち」について	5
III	2022年度の主な取組の状況	7
	食を通じて健康な体をつくる取組	7
	 (1) ライフスタイルに即したバランスのとれた食生活の実践	7
	(2) 生活習慣病予防や適正体重維持の推進	14
	(3) 食の安全・安心に関する信頼の構築	17
	食を通じて豊かな心を育む取組	19
	 (1) 食を楽しむゆとりの積極的な確保	19
	(2) 体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進	22
	(3) 日本の食文化や郷土料理等の理解と継承	28
	食を通じて環境に優しい暮らしを築く取組	31
	 (1) 食生活における環境への配慮の徹底	31
	(2) 農林水産業への理解と地産地消の推進	33
	(3) 農林水産業や食品関連産業における環境への配慮の徹底	35
	食育を支える取組	36
	 (1) 食育にかかる人材の育成と活動の充実	36
	(2) 多様な関係者による役割分担とネットワークの活用	37
	(3) いいともあいち運動の推進と充実	39
IV	県や関係団体の取組一覧	40
V	食育推進に関する問い合わせ先	53

# I 「あいち食育いきいきプラン2025」について

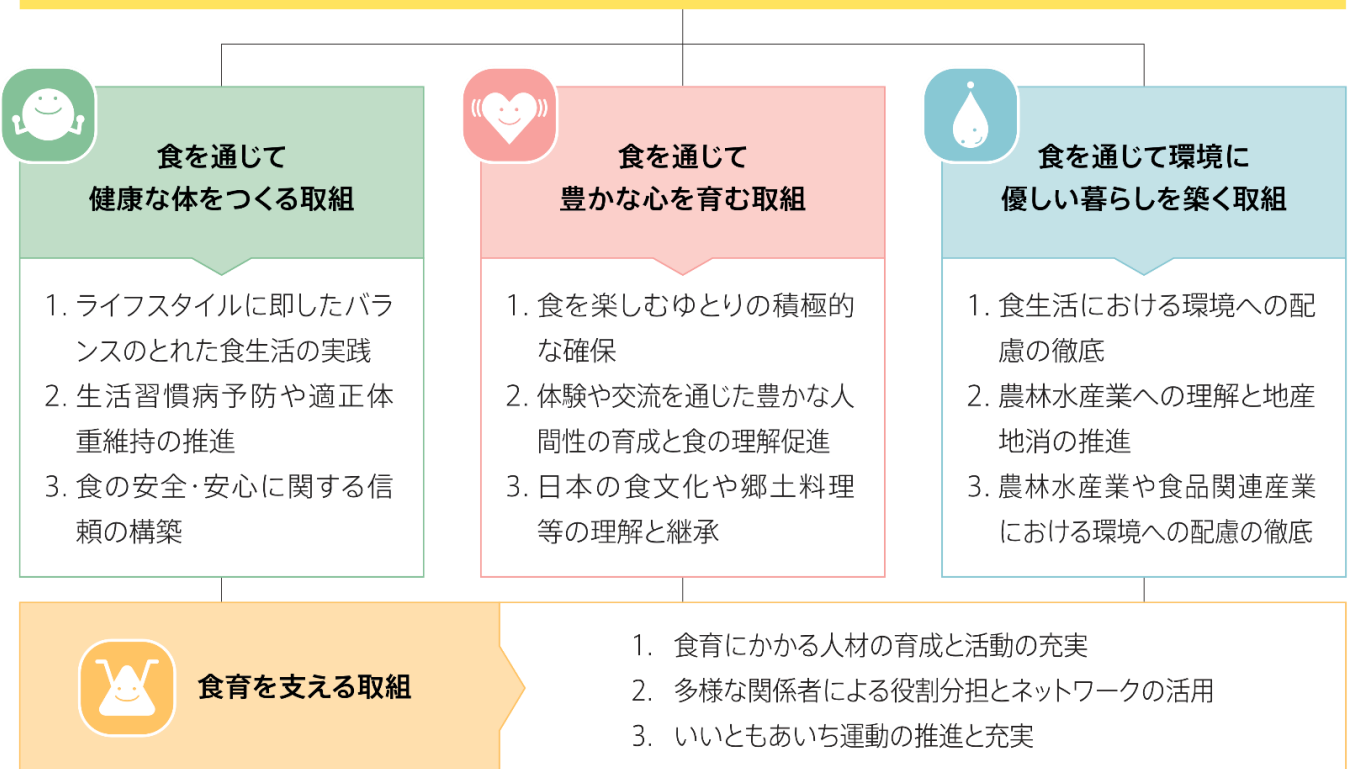
- 「あいち食育いきいきプラン2025」（第4次愛知県食育推進計画）は、食育基本法に基づく愛知県の食育推進計画で、2021年4月からスタートしました。
- あいち食育いきいきプラン2025は、「健康な体」「豊かな心」「環境に優しい暮らし」「食育を支える」を食育の取組の柱に据え、健康で活力ある社会の実現を目指しています。
- プラン2025は愛知県の第4次計画として、これまでの取組を継承するとともに、多様な主体同士の連携や新しい生活様式の実践、SDGs達成への貢献などを踏まえ、取組を“SHIN化”（新化・進化・深化・伸化）させ、食育の実践力を高めていきます。

“SHIN化”って？

「新化」...時代に合わせた変化  
「進化」...多様な発展  
「深化」...質の向上  
「伸化」...横展開のつながり

「S」...Sustainable (持続可能な)  
「H」...Healthy (健康な)  
「I」...Interesting (興味深い)  
「N」...Network (連携)

## 食育の実践による健康で活力ある社会の実現



- あらゆる世代の県民が健全な食生活を送り、心身ともに健全で豊かに暮らすためには、生涯を通じた間断のない食育が重要です。このため、乳幼児から高齢者に至るまで、ライフステージと生活場面に応じた切れ目ない食育を進めています。
- また、食育に関する取組の実効性を高めるため、様々な関係者が、その役割と特性を生かしつつ、密接に連携・協力して、県民運動として食育を展開しています。



○食育の推進について、県や関係団体等は、あいちの食育が目指す3つの方向に則して、ライフステージと生活場面に応じ、それぞれの役割と特性を生かしつつ連携・協力して、継続的に情報提供や実践促進活動を行っています。

保幼<sup>※</sup> 保育所・幼稚園・認定こども園  
学校 小学校～大学  
職場 勤務先  
地域 その他の場所

※「保幼」「学校」には特別支援学校を含む

■取組の体系

			保幼	学校	職場	地域
食を通して健康な体をつくる取組	ライフスタイルに即した バランスのとれた 食生活の実践	ア 乳幼児期における基本的な食習慣の確立	●			●
		イ 学校における小中学生への食に関する指導の充実		●		
		ウ 小中学生の食育のための家庭への支援		●		●
		エ 高校における食育の充実		●		
		オ 青年期以降の若い世代を中心とした食育の推進		●	●	●
		カ 働く世代に対する食育の推進			●	●
		キ 妊産婦や乳幼児を持つ親への食育の推進				●
		ク 高齢期における食による健康維持の推進				●
		生活習慣病予防や 適正体重維持の推進	ア 子どもの肥満予防等の推進	●	●	
イ 歯の大切さについての子どもへの啓発活動の推進	●		●			
ウ 思春期からの適正体重の維持の推進			●			
エ 職場における従業員等の健康に配慮した食育の推進				●	●	
オ 地域における健康寿命延伸につながる食育の推進					●	
カ 野菜摂取量増加の取組の拡充				●		
食の安全・安心に 関する信頼の構築	ア 食品表示の適正化の推進				●	
	イ 食の安全・安心に関する情報提供と理解促進		●		●	
	ウ 安全に関する自主管理と情報開示の促進				●	
	エ 学校給食等における食物アレルギーへの対応	●	●			
食を通して豊かな心を育む取組	食を楽しむゆとりの 積極的な確保	●	●			
	体験や交流を通じた 豊かな人間性の育成 と食の理解促進	●			●	
	日本の食文化や 郷土料理等の理解と継承	●	●	●	●	
食を通して暮らしに 環境に優しい取組	食生活における環境 への配慮の徹底		●		●	
	農林水産業への理解と 地産地消 <sup>※</sup> の推進			●		
	農林水産業や食品関連産業に おける環境への配慮の徹底			●	●	
	ア 持続可能な暮らしのための環境学習の推進		●		●	
	イ 環境に配慮した食料品等の購入やリサイクル等の実践				●	
	ウ 環境に配慮した食生活の実践				●	
	ア 農林水産業への関心と理解を深める取組の推進				●	
	イ 給食等による子どもに対する地産地消の理解と利用の促進			●		
	ウ 青年期以降における地産地消の実践			●	●	
エ 直売所における生産者と消費者の交流促進				●		
食育を支える取組	食育にかかる人材の 育成と活動の充実	●	●			
	多様な関係者による役割分担 とネットワークの活用			●	●	
	いいともあいち運動 <sup>※</sup> の 推進と充実				●	
	ア 保育・教育機関における推進体制の充実	●	●			
	イ 社会人を対象とした推進体制の充実			●	●	
	ウ 愛知県食育推進ボランティア <sup>※</sup> の育成と活動の充実				●	
	エ 食育を担う多様な人材の育成と活動の促進				●	
	ア 活動主体同士の情報共有と連携のさらなる強化	●	●	●	●	
	イ ネットワークを活用した関係者間の情報共有				●	
ウ 食育に関する情報発信の充実				●		
ア 運動の定着促進				●		
イ 協働活動の充実				●		
ウ 積極的な情報発信による県産農林水産物の利用拡大				●		

## Ⅱ 特集

### 「第17回食育推進全国大会inあいち」について



愛知県で2020年6月に開催する予定であった「第15回食育推進全国大会」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、大会の準備を通して培った食育関係者の連携を一層強化するとするとともに、県民が「食」に関する深い学びや新たな発見ができる場とするため、農林水産省との共催により、2022年6月に「第17回食育推進全国大会」を愛知県で開催しました。

「第17回食育推進全国大会inあいち」の詳しい様子は「食育ネットあいち」でご覧いただけます。

[https://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokui\\_kunet/plan/legacy\\_aichi2022.html](https://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokui_kunet/plan/legacy_aichi2022.html)



＜大会概要＞

大会名称	第17回食育推進全国大会inあいち
開催日	2022年6月18日（土）、19日（日）
会場	Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場・常滑市）
大会テーマ	“SHIN化”する「いきいき食育」あいちから ～健康な体、豊かな心、環境に優しい暮らし～
大会開催の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>食育関係者の連携を一層強化する機会とするとともに、県民が「食」に関する深い学びや新たな発見ができる場として位置づける。また、「あいちの食育」の理念を全国に向けて発信し、食育の取組に対する機運を高めていく。</li> <li>全国に誇る愛知の豊かな農林水産物やこれまで育んできた食文化など、あいちの「食」の魅力を県内外に広くPRし、需要拡大につなげる機会とする。</li> </ul>
大会コンセプト	食育を通じた交流と学びの場 あいちの「食」の魅力を体感する場
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>食育活動表彰</li> <li>食育に関する172ブースの出展</li> <li>学生レシピコンテスト</li> <li>ステージイベント</li> <li>本県農林水産業のPRや県産品の販売</li> <li>ふるまいコーナー</li> <li>シンポジウム等</li> </ul>
来場者	2日間合計：23,515人
主催	<ul style="list-style-type: none"> <li>農林水産省</li> <li>愛知県</li> <li>第17回食育推進全国大会愛知県実行委員会</li> </ul>

＝ 当日の様子 ＝



大会に出展した団体が食育活動表彰を受賞しました

2023年に発表があった第7回食育活動表彰で、「第17回食育推進全国大会inあいち」にも出展するなど、積極的に食育活動を行っている名古屋市の「富士文化幼稚園」が審査委員特別賞を受賞しました。

食育活動表彰は、農林漁業、食品製造・販売等その他の事業活動、教育活動又はボランティア活動を通じて、全国各地で食育の推進に取り組む者の功績を称えるとともに、その取組の内容を広く周知し、食育を推進する優れた取組が全国に展開していくことを目的として、2016年以降、毎年農林水産省が表彰を行っています。

教育関係者・事業者部門  
教育等関係者の部  
審査委員特別賞

富士文化幼稚園（名古屋市）

食農 食育 ～大切な命をいただく～

米や野菜を育て、収穫し、食べる経験をすることで、人間は生きていくために、他の命をいただいていることを知り、命を大切にすることを育む教育を行っています。親子で体験し、親子で一緒に命をいただくことの意味を考えることができる機会も作るなど、より深い学びの場を提供しています。

毎年、JA・地域・給食担当事業者とともに食育年間計画・目標を立て、園児や親子で種まき、植え付け、収穫などの農業体験や行事に関わる行事食の取組を行っており、2022年度には「第17回食育推進全国大会inあいち」内の企画「あいちの『食育農園』」において、地元JAと連携し、園庭で育てた野菜の収穫体験の場の提供や、育てた野菜で作ったカレーのふるまいを行いました。



(上段)幼稚園での収穫体験  
(下段)食育推進全国大会

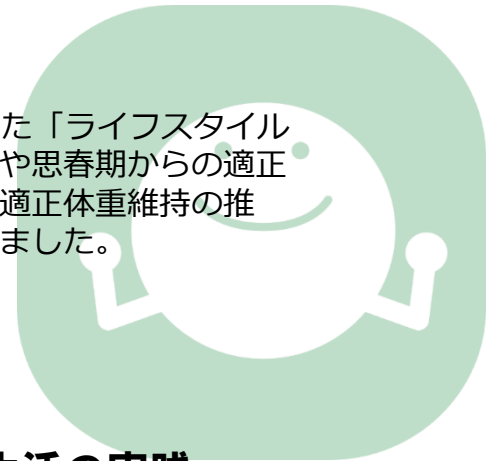


## Ⅲ 2022年度の主な取組の状況

2022年度に県や関係団体などが実施した食育の取組で、報告のあった251件から項目ごとの主な取組59件を掲載しました。

### 食を通じて健康な体をつくる取組

乳幼児期から高齢期にいたるまで、ライフステージに応じた「ライフスタイルに即したバランスのとれた食生活の実践」、子供の肥満予防や思春期からの適正体重の維持の推進、職場等での健康指導など「生活習慣病や適正体重維持の推進」及び「食の安全・安心に関する信頼の構築」に取り組みました。



#### 1 ライフスタイルに即したバランスのとれた食生活の実践

##### 離乳食教室

尾張旭市

- 実施時期：2022年5月19日、7月14日、9月15日、11月16日、2023年1月18日、3月16日
- 対象者：生後4か月以降の子を持つ保護者

##### ●内 容

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、調理実習・託児を中止し、管理栄養士による講話・実演と希望者のみ試食を実施し、月齢にそった離乳食の作り方や食事形態を学ぶための教室を開催しました。また、離乳食教室で紹介するメニューを市ホームページ上で動画配信を実施しています。

##### ●活動の成果、今後の課題

【参加者】5月19日（7名）、7月14日（12名）、9月15日（16名）、11月16日（16名）、1月18日（13名）、3月16日（14名）

参加者からは、「参考になった」「安心して始められそう。」「必要な情報が知れて良かった」などの意見が聞かれました。

##### ●デジタル化の推進について

離乳食教室で紹介するメニューを市ホームページ上で動画配信を実施しています。



取組項目：乳幼児健診や地域の子育て支援の場を活用した実践促進（取組場面：地域）



## 食育指導、野菜栽培、今日の献立、歯磨き指導

春日井市立第二保育園

- 実施時期：通年
- 対象者：保育園児
- 内 容
  - ・年間計画を作成し給食を通して、食べることの楽しさや大切さ、食材の役割、食事作法等を伝えています。食育指導には、パネルシアター等イラストを使用した啓蒙をしています。
  - ・季節の野菜を栽培、収穫体験を通して野菜の生長過程を知り、食べる意欲に繋がりました。収穫した野菜は持ち帰り家庭での調理を通して、親子で野菜について話す機会になりました。
  - ・毎日の給食献立を写真カードにし、献立ボードに掲示し紹介しています。
  - ・歯磨き指導や毎日の歯磨きを通し、歯の大切さを伝え歯磨きの習慣付けをしています。
- 活動の成果、今後の課題
  - ・食育指導や野菜の栽培、収穫体験を通して、食に関する関心が高まっています。
  - ・登園時に献立ボードを親子で見えて食材について話すきっかけとなっており、給食を楽しみにし、食べる意欲につながっています。
  - ・毎日の歯磨きが習慣となり、歯を大切にしようとする気持ちが出てきています。



取組項目：給食・弁当を活用した食育や地域人材の活用促進（取組場面：保幼）

## 食育情報の共有と町制60周年記念給食の発信（食育担当者実務者会議）

大口町

- 実施時期：2023年1月から3月
- 対象者：町民
- 内 容
 

毎年、健康おおぐち21計画の食育啓発として、担当者の連携を図るため会議を開催し、6月の食育月間と11月の読書週間及び和食の日に因んで保育園と小中学校の給食をもとに町民全体への食育啓発を行っています。

今年度は町制60周年にあたり、記念事業等が企画される中で給食を題材に、保育園では地産地消や園児の食育活動を掲示物を通して保護者へ、さらに広報誌の特集により町全体の啓発を行ってきました。また、小中学校では給食週間に昭和時代の給食開始ごろから令和までの給食を企画し、給食だよりで保護者への啓発を行ってきました。

連携会議では、各部署で行っている企画内容の共有と連携を図り、町制60周年の食育活動のまとめとして、掲示物や給食レシピを集めた発信コーナーを公共施設に設け、町広報誌において町民向けに啓発を行いました。
- 活動の成果、今後の課題
 

各部署で取り組んでいる内容は、同じような取り組みを行っていても他部署からはわかりにくい情報共有の場が必要で、そこから発展のヒントになることも多いです。一方で、人事異動もあり連携会議のメンバーは3年程度でかわるため、健康づくり・食育の視点でライフステージを通じた取り組みができるように継続が必要です。



取組項目：給食・弁当を活用した食育や地域人材の活用促進（取組場面：保幼）

## 小学校2年生を対象とした給食訪問指導「食まるパワーのひみつを知ろう」

刈谷市学校給食センター

- 実施時期：2～3学期
- 対象者：小学校2年生
- 内容

児童が自らの健康を考え、望ましい食生活を実践できる能力を育成することを目的とし、栄養教諭等が、小学校2年生の全クラスを訪問し、授業または給食時間の指導を行いました。その日の給食を教材に、栄養バランスがとれた食事とはどのような食事であるかを知らせるとともに、コロナ禍でも可能な個々への声かけを行いました。

### ●活動の成果、今後の課題

市内の全15校で実施し、しょくまるファイブの歌を活用した指導を行うことで、食に関心を示す児童が増えてきました。今後も継続的な実施が必要と考えています。



取組項目：学校給食の「生きた教材」としての活用、学校全体で食育に取り組むため、給食と各教科等を関連づけた指導計画の作成と指導の充実（取組場面：学校）

## くすっ子、花まるごはんで元気アッププロジェクト

豊橋市立くすのき特別支援学校

- 実施時期：通年
- 対象者：くすのき特別支援学校 児童生徒
- 内容

児童生徒に野菜に関する興味関心を持ってもらえるよう、生活単元学習や学級活動などの教科等と関連した食に関する指導を行いました。

小学部では、野菜スタンプでの絵の作成やさつまいもの収穫など、農作物に直接触れ合う体験型の授業を行いました。生活単元学習では、栄養教諭が扮する野菜の王様が登場して、野菜の色や形について知り、野菜の名前を口に出して覚えさせました。また、野菜を食べると元気になることを元気ポーズで児童生徒と一緒に身体を動かしながら伝えました。給食時には学んだ野菜を実際に食べることで、野菜に親しみをもちました。苦手な野菜を挑戦して食べた児童生徒に対しては、ごほうびとして野菜の王様が元気であることを認める言葉をかけ、自己効力感の育成を図りました。他学年でも同様の取り組みを行いました。

### ●活動の成果、今後の課題

野菜の名前を言えるようになる児童や、校外での活動の際に、畑を見て「この前勉強したね」という声がかかるなど、野菜に対して興味関心をもつ児童が増え、楽しみながら学習をすることができました。また、今まで給食の食べが悪かった児童が、授業を受けた後自ら進んで食べ、完食できるようになる等喫食率の増加が見られました。

### ●継続した取組の変遷について

以前より、野菜に関するクイズ等を使用した食に関する指導を行っていましたが、2021年度より発達段階に合わせた各教科と連携した指導を行うことで、食育の充実を図りました。



取組項目：学校給食の「生きた教材」としての活用、学校全体で食育に取り組むため、給食と各教科等を関連づけた指導計画の作成と指導の充実（取組場面：学校）

## 西尾市観光協会食部会による食育講座

西尾市産業部農水振興課

- 実施時期：9月から2月
- 対象者：市内小学生
- 内 容

西尾市観光協会食部会への委託事業として、市内飲食店等が市内9小学校で食育の出前授業を実施しました。数多くある西尾市の農水産物を身近に感じてもらい、食や地産地消への関心を高める目的で実施しています。今年度は、一色産うなぎの話や触れ合いや三河一色えびせんべいの手焼き見学、いただきます・ごちそうさまについての話、西尾の抹茶に合う和菓子作り、学校で収穫したさつまいもを使ったパン作りなどを通して、西尾市の農水産物について楽しく学びました。

### ●活動の成果、今後の課題

外部講師が授業を実施することにより、普段聞くことのできないお話を聞くことや体験できない調理実習ができ、地元の農産物等を理解する良い機会でした。今後は、より学校の希望にあった講座を実施できるように、講座内容を検討していきたいと考えています。

### ●連携について (連携先：市内小学校、西尾市観光協会食部会)

子どもたちに地元についてもっと知ってもらうため、西尾市観光協会食部会より小学校での食育の出前授業を実施したいと要望があり、食育講座を開始しました。



取組項目：地域人材を活用した体験的な活動の充実 (取組場面：学校)

## 学校給食レシピ紹介

岡崎市教育委員会学校給食センター

- 実施時期：通年
- 対象者：市民
- 内 容

岡崎市のホームページで、学校給食のおすすめレシピを毎月栄養教諭が紹介しています。献立のねらいなどを、市民の方に伝えるために行いました。4月は人気メニューの「ピビンバ」を紹介しました。2学期からは、献立を各教科や行事と関連をさせた「食べて学ぼう献立」を実施しており、そのレシピを紹介しています。8・9月は、中学校2年生社会科「世界の諸地域」と関連させた韓国料理の「ヤンニョムチキン」を給食で提供し、そのレシピを紹介しました。また、給食への理解を深めてもらえるように、献立のねらいや教科等との関連について、レシピ内の「学びのポイント」で紹介しています。

URL：[https://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1575/1659/p034818\\_d/fil/202208\\_09.pdf](https://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1575/1659/p034818_d/fil/202208_09.pdf)

### ●活動の成果、今後の課題

給食のレシピや献立のねらいを、様々な人に手軽に知らせることができました。今後は、献立表に二次元コードを載せる以外にもアクセスが増える方法や、レシピの感想やリクエストをもらうなど一方的な発信とならない方法を検討していきたいと思えます。

### ●デジタル化の推進について

毎月配付する献立表にレシピ紹介の二次元コードを掲載しています。また、研修会で学んだ料理を上手に撮影するコツを生かしています。



取組項目：食育だより等各種お便り、学校給食試食会、献立募集や料理教室、食物アレルギーに関する情報、就学時健診等での各種学校給食に関する情報提供等を通して小中学校から家庭に向けての食育促進 (取組場面：学校)

## 小中学校の食育に関する先進的取組事例の紹介

愛知県小中学校長会 給食委員会

●実施時期：4月～1月

●対象者：愛知県内の全小中学校(名古屋市を除く)

●内容

各小中学校における食育の充実を図ることを目的として、指導計画例及び県内での先進的な6実践を紹介しました。

- 1 コロナ対策に配慮したバイキング給食 田原市
- 2 「生きる力」を育む食に関する指導を通して 刈谷市立小垣江小学校
- 3 豊かな心と体を育む食育 豊川市立御津中学校
- 4 食べる楽しさ大切さが分かる明倫っ子 東海市立明倫小学校
- 5 望ましい食習慣を身に付ける児童の育成 豊明市立中央小学校
- 6 栄養バランスを考えて食事のできる児童の育成 清須市

●活動の成果、今後の課題

地域の特色を生かした実践を参考にいただき、各校における食育の推進を地道に続けていただくための資料となりました。

●継続した取組の変遷について

県小中学校長会給食委員会の調査研究は、研究主題を「生きる力を育む、健康教育の推進と食に関する指導の充実」として、2年間の計画で推進してきました。



取組項目：各校の食育取組事例の学校間での共有（取組場面：学校）

## 高校生朝ごはんプロジェクト

田原市農政課

●実施時期：2022年4月1日～2023年3月31日

●対象者：市内高校3年生

●内容

- ①朝食の欠食率の減少と生活習慣改善
- ②若者への朝食の重要性とレシピの普及

「高校生朝ごはんプロジェクト」として、来春高校を卒業し、一人暮らしや社会人の仲間入りをする高校3年生に向けて、朝食の大切さを知ってもらうとともに、自ら調理して朝食を食べる習慣をつけてもらうため、朝食レシピを提供し、普及啓発を実施しました。

●活動の成果、今後の課題

若い世代の代表として渥美農業高校3年生の生徒さんに協力いただき、市の管理栄養士とともに、忙しい朝でも簡単に作って食べられる朝食レシピを考案。田原市で生産されている野菜を取り入れ、毎日の食事で不足しがちな野菜を手軽に摂取できるレシピができました。

考案したレシピの完成披露試食会を渥美農業高校にて開催。レシピのリーフレットを作成し、市内の高校3年生全員に配布しました。卒業後も朝食を食べる習慣を持ってもらえるよう普及啓発しました。来年度以降は市内企業で働く若者への試食会の開催や、各種イベント等にて広くPRを実施していきます。

●連携について(連携先：愛知県立渥美農業高等学校、田原市健康課)

レシピを考案するにあたり、若者の視点を取り入れ、より興味を持ってもらえるよう、若い世代の代表として渥美農業高校生活科学科3年生の生徒さんに協力いただきました。

栄養面など専門的な知識に関しては市の管理栄養士とも連携しました。



取組項目：若い世代への啓発や講演会、職場の給食施設への巡回（取組場面：学校）



## 「おうちごはん」を考えよう！働く世代のバランス献立 立て方講座

北名古屋市保健センター  
(食生活改善推進協議会・北名古屋市役所生涯学習課)

●実施時期：2022年12月14日

●対象者：市内在住の方

●内 容

市の食育計画の基本施策に基づいて、栄養バランスのとれた規則正しい食生活の実践ができるようにするためには、どのように献立を立てるとよいか講義を行いました。

【講義内容】

①保健センターの管理栄養士：「働く世代の健康リスク」と「食事でメタボ予防について」の講話

②食生活改善推進協議会：ベテラン主婦目線での1週間の買い物の考え方と 具体的な献立の立て方の講話・食品カードを使って1食の献立を3～4人1組で立てるワーク

【場所】北名古屋市健康ドーム 【参加人数】10名

●活動の成果、今後の課題

参加者からは、「他の家庭ではどのようなことを考えて献立を組み立てているのか分かって参考になった。」「普段野菜の量が足りないなと感じた。」などの声が上がりました。

●連携について(連携先：食生活改善推進協議会)

生涯学習課から食生活改善推進協議会へ講義の依頼があり、食生活改善推進協議会の支援者として、保健センターが携わりました。

生涯学習課と連携することで、一般市民の働き世代に広く生活習慣病の予防啓発ができるため、連携して講義を行いました。



取組項目：働く世代が健康に働くための食生活の実践啓発 (取組場面：学校)

## 健康経営向けSDGs貢献につながる みんなで野菜食べようチャレンジ

カゴメ株式会社、エーテンラボ株式会社、神奈川県立保健福祉大学、豊橋市

●実施時期：2022年9月12日～12月12日

●対象者：市内企業(6社)の従業員及び豊橋市職員 272名

●内 容

【目的】チャレンジを通じた参加者の野菜摂取量の増加

【内容】以下の①～④について実施しました。

①野菜摂取の動機付けコンテンツの提供(動画配信+eラーニング)

②野菜飲料の提供による環境サポート

③職場での推定野菜摂取量測定装置(ベジチェック®)の設置

④アプリ「みんなチャレ」を活用した複数人のグループによる野菜摂取チャレンジ及びチャレンジ活動状況に応じた地域への寄付プロジェクトの食生活の実践

●活動の成果、今後の課題

活動の成果に関しては、カゴメ株式会社・エーテンラボ株式会社にて3月完成を目途に作成中です。

●デジタル化の推進について

- 野菜摂取の動機付けコンテンツを動画配信+eラーニング形式で提供することにより、参加者が自身のタイミングで視聴できる環境を整えました。
- 推定野菜摂取量測定装置(ベジチェック®)を参加企業各社に設置し、参加者が手のひらをセンサーにのせるだけで簡単に野菜摂取量をチェックできる環境を整えました。
- アプリ「みんなチャレ」は、参加者がアプリ内でグループを組み、グループ内で食事内容の共有・コメント・評価等を行うことができる他、野菜摂取の目標達成状況に応じて地域に寄付を行うことができる機能を有しています。アプリを活用することにより、参加者の野菜摂取に対するモチベーションの維持・向上につなげました。



取組項目：働く世代が健康に働くための食生活の実践啓発 (取組場面：職場)



## プレママと産後ママの交流会

岩倉市

- 実施時期：年6回（偶数月に実施）
- 対象者：市民（妊婦と3か月までの児をもつ産婦）

### ●内 容

助産師の講話、妊産婦同士で交流をする中で、妊産婦期に必要な栄養について知っていただくため、栄養士が講話、生野菜350gの実物を提示して野菜摂取量への意識を持ってもらうようにしました。

### ●活動の成果、今後の課題

生野菜350gを目の前にすると、意外と摂取できそうという声がありました。見た目は野菜350gを摂取できそうと感じても、毎日の生活で実施することが難しいのは、何か原因なのか調べるのが今後の課題です。



取組項目：母親教室等での健康教育や情報提供、授乳期以降の食の重要性の啓発  
(取組場面：地域)

## メタボ対策からフレイル予防へギアチェンジの巻 これで大丈夫（だいじょうぶ）教室

東郷町

- 実施時期：2023年2月～2023年3月
- 対象者：65～74歳以下の者で、令和2年度及び3年度のフレイル関連疾患の受診があり、BMI 21.5未満の者

### ●内 容

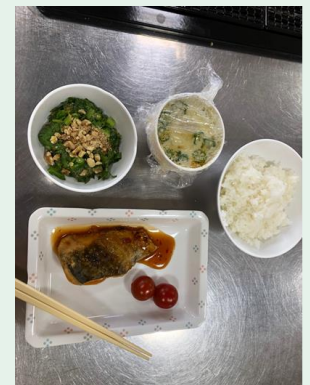
いつまでも元気な身体を保つためには、フレイル予防が必要です。フレイル予防の一つの柱として「低栄養予防」があり、今までのメタボリックシンドロームの保健指導とはまるで真逆ともいえる高齢期ならではの食事について、正しい知識を身に着ける必要があります。正しい知識を身に着けることに加えて、簡単に調理ができる調理方法や買い物の工夫を学べる料理教室を実施します。今回は体力測定や口腔についての内容を含め、栄養の視点のみならずフレイル予防について周知をする機会としました。

### ●活動の成果、今後の課題

メタボリックシンドロームの指導を受けてきた者が多く「野菜を中心に」「肉や卵は控えめに」「カロリーは摂りすぎない」等の根付いた知識を一変することができました。今後も継続して、低栄養予防の知識の普及啓発を中心とし、フレイル予防全般の知識の普及啓発を行っていきたいです。

### ●継続した取組の変遷について

今年度は低栄養リスクのある者に焦点を当てて、より低栄養予防の知識を身に着けてほしい者を対象として教室を開催しました。低栄養予防の知識の他、フレイル及びお口の健康に関する知識の普及啓発、体力測定を実施し自分の身体状況について把握できる体制を昨年からの継続して実施しました。



取組項目：食育関係者による料理教室や市町村の高齢者向け栄養改善教室などの実施拡大  
(取組場面：地域)

## 春日井市配食サービス利用助成事業

春日井市

- 実施時期：通年
- 対象者：自ら食事の準備や栄養管理等が困難で、安否確認を要する、次のいずれかの該当者
  - (1) 概ね65歳以上で、要支援・要介護認定者、事業対象者のみの世帯
  - (2) 概ね65歳以上で、要支援・要介護認定者、事業対象者と重度障がい者のみの世帯
  - (3) 重度障がい者のみの世帯
- 内容  
自ら調理、栄養管理等を行うことが困難なひとり暮らし高齢者等が、安否確認を兼ねた配食サービスを利用することにより健康の増進と自立した食生活を送り、健康保持と生活の質を確保することを目的としています。月～金曜日の週5回（昼食又は夕食）を限度として、1食あたり300円を助成しています。
- 活動の成果、今後の課題
  - ・2021年度から、配食回数を週4回から週5回に変更したところ、利用者数及び利用食数が増加しました。
  - ・登録事業者が配達時に利用者の異変に気づき、救急要請や家族、ケアマネジャーへ繋ぐことができおり安否確認の意味合いが大きいと考えています。
  - ・今後も同様の取組を継続していきたいと考えています。
- 継続した取組の変遷について  
1995年度から社会福祉協議会へ委託事業として配食協力員方式で実施していた高齢者給食サービス事業（食の自立支援事業）を見直し、2011年度から宅配業者が直接利用者宅に配達する方法で事業を実施しています。



取組項目：市町村等による配食サービスなどの充実（取組場面：地域）

## 2 生活習慣病予防や適正体重維持の推進

### 第17回食育推進全国大会inあいちへの参画

一般社団法人 愛知県歯科医師会

- 実施時期：2022年6月18・19日
- 対象者：国民
- 内容  
農林水産省、愛知県主催により開催された「第17回食育推進全国大会inあいち」において、むし歯・歯肉炎予防指導や歯磨きの習慣づけ、歯の役割や、よく噛む大切さ等の啓発を目的として、ブースを出展しました。  
ブース内では歯と全身の健康を周知するパネル展示の他、歯科相談、口腔機能と全身の健康に関するチラシの配布、歯ブラシ等の口腔ケア用品の配布、口の噛む機能をセルフチェックする咬合カチェックガムの配布など、歯科からの全身の健康の保持増進を来場者に伝えました。  
また、愛知県栄養士会と共催により、よく噛むことが全身の健康に関与することを県民に周知するため、「「噛む」から始める歯ッピーライフ」と題して、シンポジウムを開催しました。
- 活動の成果、今後の課題  
参加者数は、出展ブース約1,800名（2日間）、シンポジウムは130名を数え、どちらも多くの参加がありました。コロナ禍により、ブース内で咬合カチェックガムを使用したアンケートを実施することが難しいため、自宅でも回答出来るようWebアンケートを使用して実施しましたが、回答率は低かったです。シンポジウムでは、食育を推進するにあたって、関係する他職種と連携することの必要性・重要性等について活発に討論が行われました。本大会のテーマでもある「SHIN化」によって、食育関係者との連携を強化することができました。



取組項目：むし歯・歯肉炎予防指導や歯みがきの習慣づけ、歯の役割や、よく噛む大切さ等の啓発（取組場面：地域）

## 噛むカム幼児教室

大府市健康づくり食育推進協議会

●実施時期：2022年7月14日、10月13日、2023年1月19日

●対象者：大府に住む2歳前後の子供とその保護者

●内 容

2歳前後の幼児とその保護者を対象に、お口の発達について知識や技術を普及・啓発し、適切な食生活が行えるように支援することです。また発達に合った食べる力を養い、食生活を楽しめるよう支援することです。歯科医師からは「幼児期のお口の発達に関すること」や「気になる食べ方と対処法」、歯科衛生士からは「食事の時の姿勢とお口を使った遊びの紹介」、管理栄養士からは「おいしい&楽しい食事」や「幼児の味覚と好き嫌いへの対処法」などについて、それぞれ15～30分の講話を行いました。

●活動の成果、今後の課題

各回で紹介した噛むカムレシピがとても好評で、もっと知りたいという声が多く聞かれました。また、専門家から詳しく話を聞くことができ勉強になった、前向きな気持ちになれたなどの感想をいただき、子どもの食事に悩む保護者に寄り添った講座とすることができました。

講座の開催間隔が2か月おきだったため、日程を忘れてしまう方がいたため来年度は月に1回の実施するように調整しています。

●新規取組について

2015年度に実施された乳幼児栄養調査では、「作るのが負担、大変」「丸飲みしている」「食べ物の種類が偏っている」という悩みが多く、約75%の保護者は、子どもの食について何らかの困りごとを抱えているという結果でした。保健センターの健康相談でも食事を食べない、むら食いがあるなどの悩みが多い状況です。

かかりつけの歯科医を持たない家庭では、歯科の専門家から直接話を聞く機会が少ないため、本事業を実施することとなりました。



取組項目：むし歯・歯肉炎予防指導や歯みがきの習慣づけ、歯の役割や、よく噛む大切さ等の啓発（取組場面：地域）

## タニタ健康づくり教室

尾張旭市

●実施時期：【前期】2022年8月30日、9月6日  
【後期】2023年1月30日、2月6日

●対象者：18歳以上の市民

●内 容

（株）タニタヘルスリンク監修のプログラムに基づいて、生活習慣、運動、栄養、歯科について学び、ワンランク上の健康づくりを目指します。全6回の教室（前期：8月23日から9月27日の火曜日、後期：1月16日から2月20日の月曜日）のうち、それぞれ2日間で栄養講義と調理実習を実施しました。初回元気まる測定から3か月後に評価のための元気まる測定を実施し、自身の健康づくりが継続的に行われるように支援します。

●活動の成果、今後の課題

【参加者】8月30日（11名）、9月6日（10名）、1月30日（5名）、2月6日（5名）

参加者からは、「自分の塩分量が多いことに気づいた」「野菜の摂取が少ないことに気づいた」など調理実習を実施したことで食生活改善のきっかけとなった意見が多く聞かれました。

●新規取組について

（株）タニタヘルスリンクと市民の健康づくりの推進に向けた取り組みを実施するにあたり、教室を開催しました。



取組項目：地域特性を踏まえた食生活の改善のための継続的な食環境づくりの推進（取組場面：地域）



## 野菜の手ばかり目ばかり

半田市福祉部健康課

- 実施時期：通年
- 対象者：市内公立幼稚園・保育園・こども園等の保護者または親子、市内児童センターに来所する保護者または親子

### ●内 容

成人が1日に必要な350gの野菜を体感することで、自身の食生活での野菜摂取量の状況に気付き、毎日の食事に野菜を取り入れるためのきっかけ作りとし、生活習慣病の予防に繋げることを目的としています。保育施設の協力を得ることで、健康無関心層も含めた子どもを持つ若い世代とその子どもに、健康づくりのためのきっかけを提供できるようにしました。

- ①フードモデル・実際の野菜を使用して、1日で食べた野菜の量を思い出してもらい、秤に乗せる。
- ②1日に野菜をどの位食べているか確認し、1日の野菜必要量(350g)を知ってもらう。

### ●活動の成果、今後の課題

時間に余裕をもって実施できた施設が多く、対象者の食習慣に合わせたアドバイスができました。健康への関心度によっては行動変容に繋がらないこともあります。定期的に野菜摂取量増加に向けたきっかけづくりの場を設けることは効果的と感じています。

今後は習慣化に繋がるようなライフスタイルに合わせたアドバイスが必要と考えています。



取組項目：地域特性を踏まえた食生活の改善のための継続的な食環境づくりの推進  
(取組場面：地域)

## 料理レシピサービス「クックパッド」を利用したメニューの情報発信

東海市

- 実施時期：2023年1月～
- 対象者：市民
- 内 容

東海市はトマトde健康まちづくり条例に基づき、トマトを活用した健康づくりを推進しています。毎月10日は市内小中学校の給食でトマト給食を提供、とまと記念館ではトマトを使った健康メニューを提供しています。

今回、料理レシピサービス「クックパッド」の公式アカウントを取得し、提供したメニューのレシピ紹介を開始しました。トマト料理以外にも野菜がたっぷりとれる健康メニューのレシピも紹介しています。

<https://cookpad.com/kitchen/52995960>

### ●活動の成果、今後の課題

2023年1月27日からレシピを公開後、総アクセス数が23,092件(2月14日現在)です。1日平均1,300件を超え、多くの方に閲覧いただいています。今後、さらに閲覧数の向上にむけて、毎月レシピを10種類程度追加していきたいと考えています。また、多くの東海市民の方にクックパッドを活用してもらうために事業のPRを実施していきます。

### ●デジタル化の推進について

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、家庭で料理する機会も増えていることから、誰でも携帯等で手軽にレシピが検索できるクックパッドを活用しました。



取組項目：地域特性を踏まえた食生活の改善のための継続的な食環境づくりの推進  
(取組場面：地域)



## 野菜を食べようプロジェクト「野菜たっぷり！！ヘルシーメニュー」

知多市健康推進課

- 実施時期：通年
- 対象者：市民
- 内 容

市内飲食店にご協力いただき、野菜量140g、エネルギー500～700kcal程度、食塩摂取量3.0g未満の認定基準にあうメニューを「野菜たっぷり！！ヘルシーメニュー」として認定しています。また、認定基準ではありませんが、噛みごたえも評価しています。外食でもしっかり野菜がとれる環境をつくり、市民の健康に対する意識の向上と野菜摂取量の増加を目的としています。



### ●活動の成果、今後の課題

現在14店舗17メニューがヘルシーメニューとして認定されています。今後も店舗・メニュー数の拡大と、ヘルシーメニューの周知を図る予定です。

認定後の提供店舗へのフォローアップ、市民へのより効果的な周知が課題となっています。



### ●連携について(連携先：知多市商工会)

平成27年度のヘルシーメニューの実施に伴い、多くの飲食店が加入されている知多市商工会と連携し、各店舗への協力を依頼しました。



取組項目：地域特性を踏まえた食生活の改善のための継続的な食環境づくりの推進  
(取組場面：地域)

## 3 食の安全・安心に関する信頼の構築

### 健康食品に関する情報提供

一般社団法人愛知県薬剤師会

- 実施時期：通年
- 対象者：県民
- 内 容

自らの判断で食品を選択し適切に摂ることが求められています。愛知県薬剤師会では、こうした現状を踏まえ、適切に健康食品を選択できるようにするための1つの参考情報として、収集した情報をまとめ、ホームページで情報提供しています。

また、愛知県市町村振興協会が主催する家庭介護者等養成研修に講師を派遣し、「高齢者が薬・健康食品と上手につきあう」をテーマに講義を6回行いました。

### ●活動の成果、今後の課題

販売者側の話や広告に頼らず、自分の食生活や生活習慣を見直して、何が不足していて、何が必要なのかを考えることで上手に健康食品を利用できます。

消費者の方が医薬品との違いや相互作用を正しく理解し、上手に健康食品を利用できるよう情報提供に努めていきます。

### ●継続した取組の変遷について

2007年度より、愛知県市町村振興協会が主催する家庭介護者等養成研修に講師派遣しました。同時に介護職員向け「介護職員が知っておきたい薬の基礎知識」、ケアマネジャー向け「ケアマネ研修会」も受諾しました。



取組項目：食物アレルギーへの理解促進や市町村教育委員会の食物アレルギー対応委員会の設置、危機管理体制の構築(取組場面：地域)

## 保育園給食献立表への食物アレルギー啓発記事の掲載

日進市

- 実施時期：2023年2月
- 対象者：公立保育園 保護者
- 内 容

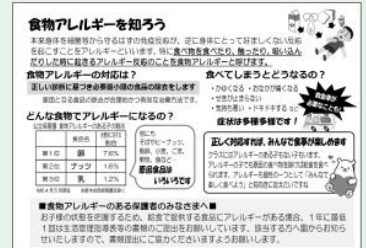
2月20日のアレルギーの日になみ、保育園献立表へ食物アレルギーに関する啓発記事を掲載しました。自らの子どもの食物アレルギーの有無に関わらず読むことのできる内容で、保育園での食物アレルギーの現状、正しい知識についての情報を掲載しました。

### ●活動の成果、今後の課題

すべて保育園に食物アレルギーを持つ園児が在籍し、食物アレルギーのある子どもない子ども毎日一緒に過ごしているため、普段から食物アレルギーを身近に感じているのですが、この「食物アレルギー」を正しく理解する機会の提供ができたと考えています。今後も定期的に情報提供していきたいです。

### ●デジタル化の推進について

2022年4月から献立表配布方法を紙媒体から保護者アプリ配信に変更しました。あわせて市webページにも掲載しています。



取組項目：食物アレルギーへの理解促進（取組場面：保幼）

## 「ユニバーサル給食」の実施

小牧市

- 実施時期：2022年7月5日、10月11日、2023年1月10日
- 対象者：市内公立小中学校児童生徒
- 内 容

アレルギーの有無にかかわらず児童生徒が同じ給食を食べることで、食物アレルギーに対する理解を深めることを目的として、市内全小中学校でアレルギーの原因となる抗原「アレルゲン」である特定原材料等の28品目を除去し、みんなと一緒に食べられる「ユニバーサル給食」として、初めて実施しました。

### ●活動の成果、今後の課題

コストがかかるという課題もありますが、普段は食物アレルギーのため給食を食べることができなかつたり、みんなとは離れて食べていた児童生徒たちが“みんなと一緒に”おいしそうに給食を食べることができました。

### ●新規取組について

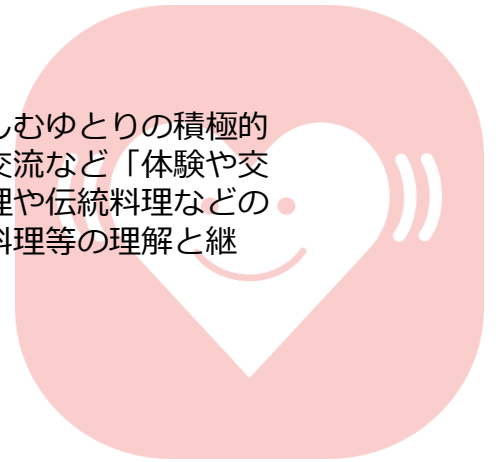
アレルギーなどで普段は給食を食べられない子どもたちのために、また食物アレルギーに対する理解を深めることを目的として、「ユニバーサル給食」として実施しました。子どもたちのアンケートからは、「いつもの給食と味がそんなに変わっていませんでしたので、普段給食を食べることができない人からしたら、とてもよい給食なのではないかなと思った」「生まれて初めて給食を食べられて、すごくうれしかった」等の意見が寄せられ、今後もアンケート結果を基に児童生徒の声も聞きながら実施していく予定です。



取組項目：食物アレルギーへの理解促進や市町村教育委員会の食物アレルギー対応委員会の設置、危機管理体制の構築（取組場面：学校）

## 食を通して豊かな心を育む取組

家族や友人と楽しみながら食事をとることなど「食を楽しむゆとりの積極的な確保」、家庭での料理や作物栽培体験、都市と農村との交流など「体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進」、郷土料理や伝統料理などの食文化の継承や食事作法の習得など「日本の食文化や郷土料理等の理解と継承」について取組を行いました。



### 1 食を楽しむゆとりの積極的な確保

#### 和食の日の献立を通して和食に関心・興味をもつ

春日井市青少年子ども部保育課 玉川保育園

- 実施時期：11月25日
- 対象者：園児
- 内 容

和食に馴染みのない子どもたちのために、和食の日にちなんで、だし汁がおやつに提供されることから、だしはどんなものからできているか、何から味が生まれてくるのか等の興味・関心につながるよう、だしに使用した昆布や鰹節を調理室から出してもらい、子どもたちに匂い、見た目、触感などを体験できるようにしました。

#### ●活動の成果、今後の課題

だしをおやつでいただくだけでなく、昆布や鰹節を実際に見て、嗅いで、触ってみることで、これからこんな味が出てくるんだ、このだしが味噌汁を美味しくするんだなど、子どもたちは興味をもって味わうことができました。その姿や取り組みを保護者に伝えることで、家庭との連携や親子の会話も生まれ、食に対する関心も高まっています。今後も引き続き栄養士や調理士の思い、大事にしていきたい食への思いを子どもと保護者に伝えていきたいです。

#### ●継続した取組の変遷について

和食の日にちなんだメニューが毎年工夫されているため、大事に子どもたちに伝えていきたいと考え、内容に合わせて伝えるようにしています。



取組項目：給食や弁当を活用した食への関心の向上（取組場面：保幼）

## 食材に親しむ体験の実施

日進市

●実施時期：通年

●対象者：公立保育園 園児

●内 容

毎日の保育のなかで、実際に給食に使用する食材に触れて親しむ機会を設けています。毎年園庭で野菜栽培をしています。今年度はトマト、さつまいも、米などを育てました。またクッキング保育として、子ども自らがおにぎりづくりやおはぎづくりをしたり、たけのこやとうもろこしの皮むきなどの素材と親しみながらの給食準備のお手伝いをしたりなどの体験を実施しました。毎日の保育のなかで、食材の実際に給食に使用する食材に触れて親しむ機会を設けています。

●活動の成果、今後の課題

栽培した作物を給食に用いたり、給食で使用する食材を活用した活動のため、無理なく無駄なく食育活動を進めることができています。今後も日常の保育のなかで食育体験を実施していきたいと思えます。

●継続した取組の変遷について

食材に触れる、自ら調理に携わる体験は保育の一環として長年行ってきたものです。コロナ禍で接触が制限される部分も多く、おにぎりづくりなどの作業がひとりで完結する形式のクッキング保育の比率が増大しています。



取組項目：給食や弁当を活用した食への関心の向上（取組場面：保幼）

## 献立ボードをつくろう！

愛西市立佐屋中央保育園

●実施時期：2022年12月～2023年3月

●対象者：年長児

●内 容

園では、その日の給食メニューを献立ボードにて紹介しています。メニューを書いたり、使われている食材を赤・緑・黄色の3色の栄養素分けをしてボードに貼ったりして、保護者や園児にわかりやすく、メニューと食材、その栄養を掲示しています。年長児が栄養士から3色の栄養素について学んだことを生かし、食材を3つのカテゴリーに分けながら栄養について考える機会を作り、使われている食材にも興味・関心をもてるようにしています。

●活動の成果、今後の課題

年長児は、使われている食材、その栄養素に改めて関心を持ち、知識を深めたり、給食が栄養バランスよく提供されていることを実感できます。また、他の園児も、通園時に保護者と「今日は何かな～」と会話が弾んだり、楽しみにしたりする様子があります。



取組項目：給食や弁当を活用した食への関心の向上（取組場面：保幼）

## 献立について

### へきなんこども園

- 実施時期：年間通して
- 対象者：園児
- 内 容
  - ・献立を立てる際、彩りにも気を付けるようにしています。
  - ・三温糖にしたり、旬なもの、地産地消を心掛けて献立をたてています。
  - ・一週間に70品目を目標して献立メニューを考えています。
  - ・調理師が毎月食育をテーマに新聞を作っています。子ども達に人気の食事やおやつレシピを載せ、欲しい人には持ち帰れるようになっています。
  - ・支援センターでも毎月「ぱくぱく」という食育だよりを発行。食育や子育てのアドバイスなども掲載し、地域の公民館や図書館にも置かれています。
  - ・異文化…年に1回「リトルワールド」という行事を行っています。テーマの国を決め、その国の食事やおやつを食べます。今年度は日本の面積に近い国、日本の人口に近い国、水道水が飲める国などを調べて展示をしました。
  - ・園児の体重・身長推移を見守っています。
- 活動の成果、今後の課題
  - ・園での食事の様子を伝えると保護者が驚く程食べているそうです。今後も子どもの食べる意欲のわく食事を心掛けていきたいです。
    - ・持ち帰り用レシピは毎回なくなる程好評です。
    - ・子ども達自ら日本以外の事に興味を持ち学びます。
    - ・普段食べているものでも、外国のものがあると知ることができます。



取組項目：給食や弁当を活用した食への関心の向上（取組場面：保幼）

## 「いわくらをたっぷり味わおう週間」

### 岩倉市

- 実施時期：1月24日から31日まで
- 対象者：全小中学校児童生徒
- 内 容
 

新しい給食メニューを実施するため、小中学生の自由なアイデアで、「岩倉の給食といえばこれ！」と言える岩倉市の定番メニューを募集しました。岩倉市の特産物を含む使用食材や料理方法、味付け、味付けのりのパッケージイラストを使用した「ゆめミールの特別メニュー」を、全国学校給食週間に合わせて実施しました。
- 活動の成果、今後の課題
 

アイデアは全部で200名以上の小中学生から応募があり、選ばれた8品のメニューと8作品のパッケージイラストが献立として提供されました。食材に岩倉産の地元食材を多く使用することにより、地元の農産物に対し関心を深めることができました。

1月27日に実施した「ふれあい給食会」では、南部中学校に市長や地元生産者を招いて試食をし、給食時間に生徒の様子を見て回りました。

アイデア献立名：いわくら市チュー、いわコロ、い〜わくんの健康みそ汁、岩倉自慢のさくらうどん、みんな大すきい〜わくんのみどりがおいしい〜わ、岩倉いっぱいポカポカ鍋、いわくらラーメン、い〜わくんのスペシャルカレー



取組項目：学校給食による感謝の心や美味しいと感じる味覚の育成、会食の楽しさ等の実感（取組場面：学校）

## 2 体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進

### フィンランド式食育体験

豊橋市

- 実施時期：2023年3月12日
- 対象者：市内在住3～5歳の子どもとその保護者15組
- 内 容

子どもが野菜に興味を持ち、好きになってもらうことを目的に、野菜をよく見て、しっかりさわり、においをかいで、音を聞き、味わう「サペレメソッド」の教室を開催。このサペレメソッドは、フィンランドで実施されている食育プログラムです。

#### ●活動の成果、今後の課題

今回のように、地元食材が集まる道の駅にて食育イベントを実施することで、参加した市民が食材を購入したり、再来場したりするなど、その後の行動につながるものと期待できるため、今後も道の駅を会場とした食育イベントを開催していきます。

#### ●連携について(連携先：一般社団法人味の教室)

日本栄養士会の会員向け冊子に、フィンランド式の食育を展開する一般社団法人味の教室の代表である染井氏の記事が掲載されていました。

食育が進んでいるとされるフィンランド式の食育を本市としても学びたく、今回の講師を染井氏にお願いすることとしました。



取組項目：家庭での食とふれあう機会の大切さの啓発（取組場面：地域）

### 野菜の栽培

尾張旭市立本地ヶ原保育園

- 実施時期：5～2月
- 対象者：5歳児
- 内 容

【目的】夏・冬野菜の栽培を通して、野菜を育てることへの関心を高め、収穫の喜びを感じ、さらに食べる意欲へ繋げていきます。また、栽培する中で地域ボランティアの方と関わり、交流を深めていきます。

#### 【内容】

- ・グループごとに栽培する夏野菜・冬野菜を決め、苗植えをし、世話をします。
- ・収穫した野菜を調理してもらったり、給食の食材と一緒に調理してもらったりして食べます。また、他クラスの友だちにも食べてもらいます。
- ・栽培する中での疑問点を地域ボランティアの方に聞いて解決し、世話をすることを楽しみます。

#### ●活動の成果、今後の課題

苗が少しずつ実となり、大きく生長する様子を間近で見っていくうちに愛着が生まれ、食することへの意欲が高まっていきました。また、苦手な野菜もクラスで育て収穫した喜びから食べる意欲へとつながっていきました。地域ボランティアの方との交流も回数を重ねることで親しみを持ち、接する姿が見られました。今後の課題として、コロナ禍であったため、子ども達自身が調理する機会を持てなかったため、今後どのように取り入れていけるか考えていきたいです。



取組項目：保育所等での栽培・調理体験等の拡充や地域人材の活用（取組場面：保幼）

## 園としての食育計画 ～お祝いの赤飯を作ろう～

豊山町立富士保育園

- 実施時期：お米の栽培 2022年5月～10月  
小豆の栽培 2022年6月～10月  
赤飯の調理と提供2023年3月

- 対象者：園児 3歳児～5歳児（幼児組）

### ●内 容

家庭で赤飯を作る事や食卓に並ぶことが減っている中で、自ら育てたお米や小豆を使用して赤飯を調理し食べることで、赤飯の伝統や由来など様々な経験から学びに繋がると考えました。また、収穫までの過程を経験することで、色々な食材や調理に対する感謝の気持ちや食に対する興味や関心が深まると考え、取り組みました。

発砲スチロールに土や水を入れて、苗を植えたり、毎日水を足したりしながら生長を観察しました。稲刈り後は、牛乳パックで一本一本脱穀を行い、2月末頃に玄米を持って精米所に行き、精米しました。

3月15日のおやつ時間に、ラップの上に赤飯をのせて各自でおにぎりを作って食べました。

### ●活動の成果、今後の課題

稲の生長を園全体で観察しながら、各年齢に合った声かけをすることで、発達段階に合わせた学びに繋がりました。園庭の観察しやすい場所に稲を設置した事で、登降園時に保護者と園児と一緒に観察する姿もあり、とても良い経験となりました。

今後も継続して様々な食材を育てることで、食に対する良い学びに繋げていこうと思います。



取組項目：保育所等での栽培・調理体験等の拡充や地域人材の活用（取組場面：保幼）

## ブロッコリーの栽培

碧南市立天道保育園

- 実施時期：10月～2月
- 対象者：年長児(26人)
- 内 容

表示を付けずに植えたブロッコリーの苗を見て「これ、何?」「野菜?」と興味をもって見ていた年長児。だんだん生長する様子を見て「ブロッコリーだ」と気づき始めました。大きく生長すると「給食で食べたい」という声が出たので、みんなで収穫をしました。ブロッコリーを持ってみると「重い!」「大きいね」と驚いている子もいました。みんなで給食室へ持って行き、塩ゆでにしてもらいました。野菜が苦手な普段はあまり食べない子も「これは食べる!」と進んで食べていました。

### ●活動の成果、今後の課題

表示を付けなかったことで「何になるんだろう」と興味をもちながら生長の様子を見ることができました。自分たちで育てたり収穫したりした野菜は特別おいしく感じる事ができました。夏野菜だけでなく、他の季節の野菜にももっと関心を持たせていきたいと思っています。



取組項目：保育所等での栽培・調理体験等の拡充や地域人材の活用（取組場面：保幼）



## さつまいもの栽培・収穫をして調理しよう

吉浜さんさん保育園（高浜市）

- 実施時期：2022年5月～12月
- 対象者：5歳児（24名）、4歳児（23名）
- 内 容

野菜の栽培・収穫から調理をして食べる経験を通し、食べ物や食に関わる人への感謝の気持ちを持ってほしいという思いからさつまいもの栽培をしました。5月に畑を世話している方と一緒に苗植えをしました。収穫までの間、園児も水やりを何度か行い、11月に子どもたちで芋掘りをしました。2週間ほど熟成させ、さつまいも餃子作りをして食べました。普段食べている物ができるまでに関わっている人を知ることや、自分の育てた野菜を皆で食べることのおいしさを感じることができました。

### ●活動の成果、今後の課題

さつまいもという身近な野菜を通して、食べ物への感謝の気持ちや、野菜に興味・関心を持つことができました。芋の種類の違いを学んだり、自分たちで皮むきをやったりしたことで、よりクッキングを楽しむことができました。今後も様々な野菜に触れていくことで、作物の成長や収穫の喜びが体験できるようにしていきたいと思います。



取組項目：保育所等での栽培・調理体験等の拡充や地域人材の活用（取組場面：保幼）

## こどもクッキングいちのみや

一宮市保健所 健康支援課

- 実施時期：2022年7月29日、8月30日
- 対象者：一宮市内の小学生とその保護者
- 内 容

第2次健康日本21 いちのみや計画における「食育の推進」を目的とした事業として実施しました。コロナ禍において参加者が安心して参加できるよう定員を縮小、感染対策をとり、調理実習試食を実施しました。健康支援課は「食」を通じて、市民、企業、ボランティア団体が繋がり、事業が円滑に実施できるよう企画、調整、準備等の後方支援を担当しました。農業協同組合へ地産の食材「あいちのかおり米（愛知県産）」と「なす（一宮市萩原町産）」を協賛、修文学院高等学校食物調理科の生徒に調理実習講師と保護者への健康教育を依頼しました。また一宮市健康づくり食生活改善ボランティア協議会へ調理補助の協力を依頼しました。

### ●活動の成果、今後の課題

小学生と、修文学院高等学校生、調理補助協力をされたボランティアの皆さんのマスク越しではあるが調理中の和やかな雰囲気が印象的でした。この事業を通じて食の大切さを伝え、人々をつなぐことができたと思います。市民の野菜摂取や地産地消への意識向上につながるこのような事業をこれからも企画、実施していきたいです。

- 連携について(連携先：修文学院高等学校、愛知西農業協同組合、一宮市健康づくり食生活改善ボランティア協議会)

修文学院高等学校食物調理科の高校生へどのような事業なら参加してみたいかとのアンケート調査を実施しました。結果「講師をしてみたい」という意見が複数あり、事業企画の際にこの意見を取り入れ、高校生と意見交換を行い、事業を実現しました。また、地元の企業との連携として愛知西農業協同組合より、あいちのかおり米（愛知県産）なす（一宮市萩原町産）提供を受け、市民との協同事業となるよう一宮市健康づくり食生活改善ボランティア協議会には調理補助を依頼し、産・学・官の連携を意識し事業企画を行いました。



取組項目：親子や高校生を対象とした料理教室等による健康管理の実践促進(取組場面：地域)

## 親と子の栄養教室

江南市

●実施時期：2022年7月26日・8月4日・8月23日

●対象者：市内在住の小学生とその保護者

●内容

江南市では、夏休みに小学生を対象とした「親と子の栄養教室」を保健センターで開催しています。この教室では、親子でコミュニケーションをとりながら、「食べる」ことへの興味・関心を引き出すことを目的としています。

今年度は「すがたを変える米」をテーマに講義・調理実習を通して理解を深めました。講義では、米からせんべいや五平餅などの食品や調味料など、どのようにすがたを変えていくかを写真やイラストをもとに学びました。また様々な種類の米を実際に触り見比べることで違いを学びました。調理実習では、五平餅と夏野菜のっぺい汁を作りました。

●活動の成果、今後の課題

計13組31名の方が参加しました。米に関するクイズでは親からも驚きの声があがりました。またアンケートでは「包丁や火が使ってよい経験になった」「子どもと一緒に作れるメニューだったので作ってみたい」という意見がありました。

1人当たりの年間消費量が減少している米について、親子で考え見直すいい機会になったと思います。



取組項目：親子や高校生を対象とした料理教室等による健康管理の実践促進  
(取組場面：地域)

## 親子魚料理教室

蒲郡市農林水産課

●実施時期：2022年11月

●対象者：市内小学4～6年生とその保護者

●内容

魚の知識の取得及び水産物の消費拡大を目的に地元で水揚げされる水産物を使用して魚料理教室を開催しました。

今回は、地元で水揚げされたキンメダイとスルメイカを使用し、キンメダイの炊き込みごはんとかき揚げサラダを作りました。参加者からは、「簡単で家でも出来る、もっと魚を食べたくなった」といった感想がありました。

●活動の成果、今後の課題

本教室が魚や魚料理に関心を持つ機会にはなっていますが、一過性のものとするのではなく、継続的に水産物の地産地消につなげる必要があります。

●連携について(連携先：愛知学泉大学 石川講師)

2004年4月に蒲郡市漁協女性部連絡協議会との意見交換の中で、水産物の消費について、「魚の食べ方を教えなければ食べない」、「学校給食では地元の魚があまり使われていない」などの意見があり、地元で水揚げされる魚を使用した料理教室を開催しようという動きになりました。



取組項目：親子や高校生を対象とした料理教室等による健康管理の実践促進  
(取組場面：地域)

## 幸田町子ども食育体験教室

幸田町

- 実施時期：2022年8月23日
- 対象者：小学4～6年生20名
- 内 容

今年度は子ども達にとって給食等で身近な食材である牛乳に注目しました。都市近郊の資源循環型牧場で酪農の知識を学ぶことで、食の在り方について考える機会とすることが目的です。

西尾市の小笠原牧場を訪問。牧場主の方から詳しい説明を受けながら、牧場を見学し、実際に餌やりや乳しぼり、チーズ作りを体験しました。牧場の牛の排泄物で作ったたい肥を使って、牧場周辺で牧草を育てて牛の餌とする様子も実際に見学でき、これからの酪農の様子を感じ取ることができました。



### ●活動の成果、今後の課題

開催後アンケートを実施したところ、酪農への理解が深まった喜びの声が多く寄せられました。今回のテーマは参加希望者が多く、募集の倍以上の人数が応募してきたため、落選した子供たちも多かったことは今後の課題といえます。より大人数で参加できるイベントにできるといいですが、受け入れ先の負担も考えて調整していきたいです。



### ●連携について(連携先：愛知県酪農農業協同組合)

愛知県酪農農業協同組合のホームページで、見学等の受け入れをしている牧場を探して依頼したところ、愛知県酪農農業協同組合の職員に当日教室の手伝いとして参加を申し出ていただきました。



取組項目：生産者等と学校の連携による計画的な体験学習の環境づくり(取組場面：学校)

## 「家族でほっこり さといもさん家の絶品レシピ ～しょくまる5人をそろえよう～」コンテスト

刈谷市

- 実施時期：2022年7月～12月
- 対象者：市内小学校5・6年生とその保護者
- 内 容

食育への意識向上を目的に、夏休みの期間を活用して親子で話し合い、しょくまるファイブ5色すべてが含まれ、かつ刈谷市特産品であるさといもを使用したレシピを小学校5・6年生から募集しました。

コンテスト本選では、822件の応募の中から書類審査を経て選出された5つのレシピの考案者5組に参加していただき、親子での調理や、審査員による食味審査を行いました。

### ●活動の成果、今後の課題

子どもたちが家族と一緒に、しょくまるファイブの5色(主食、副菜、主菜、果物、牛乳・乳製品)がそろった料理を作って、食べることの大切さや地元の農産物の美味しさを知り、食への感謝の心を育てるきっかけになりました。



取組項目：調理実習や料理コンテスト等を通じた食の知識や調理技術の習得、食事を作る人への感謝の気持ちの育成(取組場面：学校)

## 稲作体験

春日井市、T・I・Tふれあい農園共同体（ふれあい農業公園指定管理者）

- 実施時期：2022年5月28日、6月11日、10月22日、11月12日
- 対象者：小学生とその保護者
- 内 容

地域農業への理解を深めるとともに、自然の恵みや豊かさを実感し、食に関わる人に感謝する心を育むため、ふれあい農業公園に隣接する水田において、市内生産者の協力のもとで田植えや稲刈りなどの稲作体験を実施しました。

### ●活動の成果、今後の課題

16組の親子（子どもは18名）が参加し、参加者からは普段できない体験ができてよかったとの声を多数いただきました。

### ●新規取組について

ふれあい農業公園の近隣の水田において新たな事業を展開することで、市内の主要な地域農業への理解を深めるとともに、農業公園の更なる魅力向上に資することを目的として開始しました。



取組項目：教育ファーム、酪農教育ファーム、食農教育、市民農園、農業体験農園などの  
取組推進（取組場面：地域）

## 食育イベント（ラムネ作り体験・おやつに関する紙芝居など）

長久手市

- 実施時期：2022年6月26日
- 対象者：市民
- 内 容

（目的）  
幅広い世代への食育の推進・第3次長久手食育推進計画のPR  
（内容）

食育に関心がある、市内の幅広い年代の方々に対して、民間企業の協力を得てラムネ作り体験やおやつに関する紙芝居、市内産の野菜を販売したり健康飲料の試飲を行うマルシェ、食育推進支援会議委員作成のレシピの配布などを行いました。

### ●活動の成果、今後の課題

100人を超える参加者がいましたが、イベントの参加者を対象にすると、人数が限られてしまいます。不特定多数の方への食育の推進や、食育を自分事として認識してもらうことが難しいので、今後の課題としたいです。

### ●新規取組について

食育推進支援会議があるものの、イベント開催など食育について委員が直接関わる事業がなかったことから。



取組項目：教育ファーム、酪農教育ファーム、食農教育、市民農園、農業体験農園などの  
取組推進（取組場面：地域）

## 第10回とよかわおもてなしレシピグランプリ！

豊川市産業環境部農務課

●実施時期：2022年12月1日～2023年1月13日

●対象者：市内在住・在勤者

●内容

第3次豊川市食育推進計画における「地産地消の推進」として、豊川市産の農産物の認知・消費の啓発を図ることを目的に「とよかわおもてなしレシピグランプリ！」を開催しています。

10回目となる今回は、ハーブにスポットを当て、「豊川産ハーブを使用したやみつきレシピ」のテーマで募集を行いました。

一次審査を通過した作品について、2月18日（金）に試食審査を実施し、最優秀賞・優秀賞等を決定しました。

<https://www.city.toyokawa.lg.jp/shisei/sangyo/nogyo/nogyoshinko/6omotenasi-recipe-gp.html>

●活動の成果、今後の課題

全14件の応募がありました。食育関係各課でレシピによる一次審査を行い、通過した作品について審査員による二次審査を行いました。

受賞したレシピを実際に市民に味わっていただける場を設け、PRしていくことが課題として挙げられます。



最優秀賞  
「青じそとえごま入りピカタ2種&とろ〜りサクサク油揚げ」



取組項目：教育ファーム、酪農教育ファーム、食農教育、市民農園、農業体験農園などの取組推進（取組場面：地域）

## 3 日本の食文化や郷土料理等の理解と継承

### 地元の旬を味わう和食給食の日

弥富市小中学校

●実施時期：11月

●対象者：市内小中学生

●内容

学校給食において、愛知県産の食材を使用した「地元の旬を味わう和食給食の日」を市内全小中学校で実施しました。11月24日の「いい日本食の日」に合わせ、当日の献立は「ご飯、牛乳、めひかりフライ、里芋と大根のそぼろ煮、小松菜のごま酢和え」としました。里芋や大根、小松菜などの旬の野菜を使用し、地元の食材である愛知県産めひかりを使用しました。だしを使って素材の味を引き立たせたり、魚を主菜に使用したりするなど、和食の特徴を感じられる献立となるよう工夫しました。また、給食に使われる食材の紹介資料を作成し、児童生徒に啓発を行いました。

●活動の成果、今後の課題

地元でとれる食材を給食に積極的に使用することで、児童生徒に自分たちの住む地域の自然、文化、産業に目を向けさせるとともに、農家の方の苦勞や願い、作り手や自然への感謝の心を育むよい機会になっています。

今年度より地域の青果組合と連携し、愛知県産の食材を月に1回2品目までに限り、使用可能となり「愛・地産給食」と称して提供しています。しかし児童生徒への啓発が不十分であったため、行事食としてあまり浸透しませんでした。その反省を踏まえ、来年度は農家さんとも連携し、インタビューを行ったり、育成・収穫の過程を写真等で共有したりして啓発を行っていきます。



取組項目：学校給食への導入促進や体験との関連づけ、「愛知を食べる学校給食の日」の年3回実施（取組場面：学校）

## 道の駅にしお岡ノ山における「驛弁 西尾の郷土料理詰め込みました」の販売

西尾市産業部農水振興課

- 実施時期：通年
- 対象者：道の駅にしお岡ノ山訪問者 他
- 内 容

先人の知恵が詰まった地域の文化でもある、郷土料理を次世代に継承していくことを目的として、西尾市食育推進会議監修のもと、道の駅にしお岡ノ山にて「驛弁 西尾の郷土料理詰め込みました」の販売を開始しました。現在、核家族化等を理由に郷土料理の継承が希薄していることから、長年伝えられてきた郷土料理の美味しさを多くの方に知ってもらいたい、という思いを込めて、西尾市の魅力が詰まった驛弁を作成しました。



### ●活動の成果、今後の課題

11月に販売を開始してから、とても好評をいただいています。西尾市で作成した郷土料理レシピ集を付けて販売しており、購入いただいた方に地域の郷土料理について知ってもらえる良い機会になっていると感じています。内容を見直ししながら、今後も続けていきたいと考えています。

### ●新規取組について

道の駅にしお岡ノ山より、西尾市の魅力ある農産物や郷土料理を使った弁当を作りたい、という依頼があり、西尾市食育推進会議監修のもと、郷土料理を詰め込んだ驛弁を作成しました。



取組項目：日本型食生活の良さの啓発（取組場面：地域）

## 守口大根収穫体験及び粕漬け体験学習

扶桑町、扶桑町守口大根漬物組合、(株)扶桑守口食品

- 実施時期：10月～2月
- 対象者：小学校（4校）3年生～5年生
- 内 容

扶桑町に対する愛着や誇りを育むことを目的とし、地産地消や食育を含め、扶桑町の特産品である守口大根について、扶桑町守口大根漬物組合（生産者）と(株)扶桑守口食品（加工業者）の協力を得て、3年生は種まき・収穫、4年生は漬け込み、5年生は仕上漬けを経て守口漬になるまでを、3年かけて体験しながら学びます。



### ●活動の成果、今後の課題

実際に土や大根を触って体験することで、興味を持ち理解を深めながら学んでいます。本事業を通じ、家庭でも守口大根のことが話題になっているという声を聞き、町の特産品としてより身近なものになっています。



### ●連携について(連携先：扶桑町守口大根漬物組合、(株)扶桑守口食品)

守口大根の種まき、収穫を行うには生産者団体である扶桑町守口大根漬物組合の協力が必要であり、粕漬け体験を行うには加工業者である(株)扶桑守口食品の協力が必要であるため、連携して取り組んでいます。



取組項目：地域の食文化や伝統的な作物の紹介、高齢者の持っている食に関する知識の継承(取組場面：地域)

## 食育推進事業～手作りおこしもんでひなまつり～

みよし市

●実施時期：2023年2月25日

●対象者：市民

●内 容

料理体験を通じ、市民に食への関心を持ってもらうとともに、季節行事のひなまつりに、地域で伝わるおこしもんを親子・親族等の親しい人とで作ることで、**「食育」の認知度を広めることを目的として開催しました。**

●活動の成果、今後の課題

4組8名の親子が参加しました。

●連携について(連携先：農村生活アドバイザー)

農村生活アドバイザーは、農業経営や農村生活の向上を図るだけでなく、農業の発展や地域の活性化に寄与することや、農産物の地産地消や食育の推進をしているため。



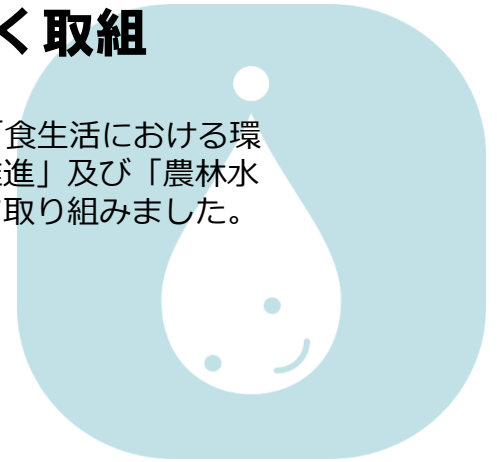
取組項目：地域の食文化や伝統的な作物の紹介、高齢者の持っている食に関する知識の継承（取組場面：地域）



毎月**19**日は、おうちでごはんの日

## 食を通じて環境に優しい暮らしを築く取組

食べ物の消費と生産の両面からの取組を推進するため、「食生活における環境への配慮の徹底」、「農林水産業への理解と地産地消の推進」及び「農林水産業や食品関連産業における環境への配慮の徹底」について取り組みました。



### 1 食生活における環境への配慮の徹底

#### 研修会「体によい・環境にもやさしい食品の選び方を考えよう」

オリーブ協議会

- 実施時期：2022年 11月3日
- 対象者：オリーブ協議会の会員他
- 内容

SDGsを意識した持続可能な社会への取り組みの一つとして、食品ロスの問題からエシカル消費について着目し研修会を開催しました。当日は、名古屋女子大学の堀尾文彦教授から「ビタミンCの働きの基本情報と特徴」、三宅元子教授から「環境ラベルからみたエシカル消費」と題して体によい・環境にもやさしい食品の選び方についてご講演をいただきました。

#### ●活動の成果、今後の課題

参加者からは「とても解り易いく講話していただき、理解することができた」また、「エシカル消費について、知識を深めることができた。これからは食品表示等を意識し環境にやさしい物を購入したい」などの意見を頂きました。

コロナ禍で制限されていたが、今後は調理実習など実際に活動と実践に取り組みたいです。

#### ●新規取組について

コロナ禍で活動が制限されていたので、研修会を開催することにしました。SDGsという言葉を知るようになり、私たちの日々の生活を振り返り、知識を深める必要性を感じ研修会を開催しました。



取組項目：SDGsを意識した環境学習の推進（取組場面：地域）



## あいちエコアクション・ポイント事業

愛知県環境活動推進課

- 実施時期：2023年2月15日～2026年2月中旬（予定）
- 対象者：県民
- 内 容

県民の脱炭素・循環型ライフスタイルへの転換や行動変容を促すため、グリーン購入や、飲食店での食べ残しゼロ、フードバンクへの寄付などの環境配慮行動（エコアクション）に対して、愛知県独自のポイント（あいちエコアクション・ポイント）を付与します。

このポイントは、県民が、県内約4,300の参加店舗等において対象のエコアクションを実践した場合に、店舗等に設置する二次元コードをスマートフォンで読み取ることで獲得でき、ポイントを300ポイント貯めるごとにQUO(クオ)カード等の賞品が当たる抽選に1回応募できます。

### ●活動の成果、今後の課題

県民のエコアクションは、グリーン購入1,289回、飲食店での食べ残しゼロ330回、フードドライブへの寄付116回となりました（2023年2月末時点）。

今後は、参加店舗数の増加を図るとともに、本事業の認知度向上に向けた普及啓発を行います。

### ●デジタル化の推進について

ウェブアプリケーションでのシステムを採用し、ポイントは、県民のスマホで獲得できるものです。



取組項目：グリーン購入の普及啓発、暮らしの中で実施できる食に関連する環境配慮行動の推進等（取組場面：地域）

## クッキング教室

新城市

- 実施時期：2023年2月18日
- 対象者：市民
- 内 容

第4次新城市食育推進計画の施策として掲げる「環境にやさしい食生活の推進」を目的として、「エコレシピ」をテーマにクッキング教室を開催しました。レシピの考案及び講師として、農村輝きネット・しんしろに協力いただき、豆ご飯、大根のステーキ、ブロッコリーのポタージュ、茶殻マフィンの4品を作りました。

実施時期が節分の後だったため、余りがちな福豆や普段廃棄している野菜の皮や芯まで活用した、食材を無駄なく使った環境にやさしい料理を作りました。

### ●活動の成果、今後の課題

普段あたり前のように廃棄している野菜の皮や葉なども、アレンジ次第で美味しく料理できるということを知ってもらうきっかけの場を提供したことにより、環境にやさしい食生活の推進につながりました。

今回のクッキング教室で習ったことを家庭でも実践していただくことで、一層の推進につながると考えています。



取組項目：食材の適量購入やエネルギーの節約等、環境に配慮した食生活の実践促進（取組場面：地域）

## 2 農林水産業への理解と地産地消の推進

### あいちの農業用水展

愛知県農地計画課

- 実施時期：8月1日から7日まで
- 対象者：県民
- 内 容

農家や先人の努力の積み重ねにより守り育てられてきた「農業用水」を中心に、「水」の重要性について、広く県民の方の関心と理解を深めてもらうことを目的に、「水の週間(毎年8月1日～7日)」の関連行事として、1991年度から実施しています。

例年は参加型イベントとして開催していますが、今年度は新型コロナウイルス感染症第7波による急激な感染拡大を受け、本県の大規模農業用水を紹介する大型のラバーマットの展示を始め、農業農村整備について学べるパネルの展示やPRグッズの配布を名古屋市のイオンモールナゴヤドーム前で実施しました。

#### ●活動の成果、今後の課題

多くのPRイベントが中止・縮小される中、たくさんの方にご覧いただき、水の大切さや農業用水の歴史等について学んでいただくことができました。

今後も継続してこのようなイベントを開催し、より多くの県民に啓発していくことが必要だと考えます。



取組項目：生物多様性保全や洪水の防止など農林水産業の果たしている役割への理解促進  
(取組場面：地域)

### J A農産物直売所情報誌「フレ」の作成・配布

J A愛知中央会

- 実施時期：通年
- 対象者：愛知県内の一般消費者
- 内 容

愛知県内の一般消費者に対し、愛知県内JAの農産物直売所を広く知ってもらうため、JA農産物直売所情報誌「フレ」を発行しています。「フレ」では、子育て世代(30代～40代)の女性をメインターゲットとしており、農産物直売所の情報だけではなく、県内各地域の特産物を使った時短レシピなども掲載しています。

また、2店舗以上(複数JA)訪問することで応募できる「デジタルスタンプラリー」も実施しており、各地の農産物直売所をPRしています。

#### ●活動の成果、今後の課題

デジタルスタンプラリーにおけるアンケートでは「農産物直売所には、新鮮な農産物がたくさんあって驚いた」、「地産地消は素晴らしい取組みだと感じる」といった意見が多くあります。今後は、メインターゲット層が集まるイベントでの配布など、「フレ」による訴求力の向上を図ります。

#### ●デジタル化の推進について

2022年から、デジタルスタンプラリーを実施し、電子応募とすることで気軽に参加してもらえるように工夫しています。



取組項目：直売施設の整備や県民への情報提供の推進 (取組場面：地域)

### 第3回目「愛知を食べる学校給食の日」実施

美浜町学校給食週間「見直そう！地域の食材～地産地消で自給率アップにつなげよう～」

美浜町学校給食センター

- 実施時期：2023年1月23日～1月27日
- 対象者：美浜町小中学校児童生徒
- 内 容

1月下旬の1週間を「学校給食週間」として、美浜町や愛知県産の食材を多用した献立を実施しました。身近な地域で生産される食材を子どもたちに知らせることで、地域の産業への理解を深めるとともに、そのよさを実感し、社会的な課題である食料自給率についても考えさせる機会としました。

本年度は初めて美浜町野間が産地である海苔を地元漁業組合の協力により、手巻き用にして給食に提供することができました。さらに、エリンギや温室トマト、ぼんかんなどの町内産に加え、豆味噌や酒粕など知多半島で生産された食材をふんだんに取り入れた給食週間としました。小中学校には教室掲示用資料と給食時に活用するための放送資料を配付し、児童生徒への啓発を図りました。

#### ●活動の成果、今後の課題

給食週間で、子どもたちは、自分たちの住んでいる地域の食材に興味・関心をもって毎日の給食を楽しんでいました。また、学習内容と関連させたテーマでもあったことから、子どもたちの関心をより高める機会となりました。

課題は、献立が食材の収穫時期より2か月以上前に作成されるので、天候などの影響により、使用量や価格の面で給食に取り入れることが難しい場合があります。実施に向けて、農協や漁協などと連携を取り、綿密な打ち合わせを行うことが必要です。



取組項目：学校給食を活用した子どもへの地産地消の理解促進（取組場面：学校）

## 安城市オリジナルおつまみソースの開発

安城市

- 実施時期：7月～3月
- 対象者：市民
- 内 容

地産地消の推進、地元農産物の消費促進を目的として、安城市出身の料理研究家寺田真二郎氏に監修していただき安城市の特産品であるいちじく及び梨を使用した「オリジナルおつまみソース」の開発を行いました。

3月3日には、おつまみのお披露目会を実施し、市民の方に広くPRしました。

#### ●活動の成果、今後の課題

お披露目会でアンケートを実施し、商品化を希望する声をおおいただきました。今後は、商品化を目指し、市内で普及促進をしていくことが課題です。

#### ●新規取組について

2019年度に「安城の豊かな水と大地の恵みに感謝し、乾杯する条例」が制定され、地産地消の推進、食文化の振興とまちの活性化を目的とした取組が実施されてきました。

2021年度には安城市の特産品（梨、いちじく、きゅうり、チンゲン菜）を使用したオリジナルカクテルが観光協会主導で開発。

2022年度は、さらなる地産地消の推進と地元農産物の消費促進、オリジナルカクテルの普及を目的として、オリジナルおつまみソースの開発を行うに至りました。



取組項目：地域農林水産物の利活用等に向けた普及啓発（取組場面：地域）

### 3 農林水産業や食品関連産業における環境への配慮の徹底

#### ドライブスルー型「フードドライブ」の実施

小牧市

- 実施時期：2022年6月17日、2022年12月19日
- 対象者：市民
- 内容

食品ロスの削減をはじめ、食育の啓発活動として、ドライブスルー型「フードドライブ」を実施しました。市民や職員からレトルト食品、米、飲料などを寄附していただきました。集まった食品は、小牧市善意銀行に寄附し、生活困窮者支援につなぎました。

- 活動の成果、今後の課題

取組みを知った市民の方や企業さんから今後も協力したいなどの相談が数件あり、廃棄食品の削減、食品ロス削減への意識づくりに寄与できたと思います。

- 連携について(連携先：小牧市地区民生・児童委員連絡協議会)

小牧市地区民生・児童委員連絡協議会が各地区の支え合い活動として、すでに「フードドライブ」事業を実施しています。こうした情勢のなか、生活に困った方も増えており、感染対策を行いながら、フードドライブ事業を通じた地域の支え合い活動を継続し、食品ロスの削減・食育を推進するため、実施しました。

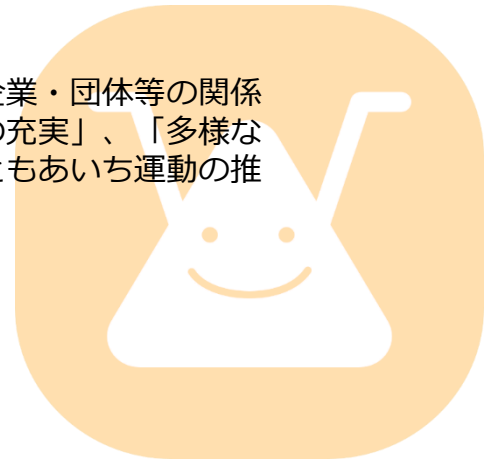


取組項目：フードバンク活動の企業等への紹介や未利用食品の活用に関する理解促進  
(取組場面：地域)



## 食育を支える取組

食育を効果的に推進するため、市町村や食育を推進する企業・団体等の関係者との連携を図りつつ、「食育にかかる人材の育成と活動の充実」、「多様な関係者による役割分担とネットワークの活用」及び「いいともあいち運動の推進と充実」に取り組みました。



### 1 食育にかかる人材の育成と活動の充実

#### 東三河地域食育推進ボランティア研修交流会

愛知県東三河農林水産事務所

- 実施時期：2022年11月16日
- 対象者：愛知県食育推進ボランティア、市、県
- 内 容

未来を担う子どもたちへの食育の一環である学校給食をテーマに豊橋市曙学校給食センターで、研修交流会を開催しました。当日は、35名が参加し、最新式の施設の見学と地元農産物を使った学校給食の取組と課題に関する講話並びに意見交換を行いました。また、その日に提供される給食を試食しました。



#### ●活動の成果、今後の課題

参加者から「初めて給食の調理工程を見学し、貴重な経験をすることができた。」「多くの方が栄養バランスを考えて給食に関わっていることに感謝したい。」「充実した研修会だった。」との声が聞かれ、学校給食に関する理解が深まりました。

今後も地域での食育活動に役立つ有意義な研修交流会を企画していきます。

#### ●連携について(連携先：豊橋市曙学校給食センター)

食育拠点としての機能を持つ当給食センターと連携することで、学校給食に関する理解を深め、効果的な研修交流会を開催できると考えました。



取組項目：登録の推進や研修会等による食育推進ボランティアの育成 (取組場面：地域)

## 食育啓発用パンフレットの作成・配布

常滑市

●実施時期：2022年6月～11月

●対象者：市民、県民

●内 容

食育関連事業等で活用することを目的に、パンフレットを作成しました。常滑市で生産されている特産物を広く知っていただくために、農畜水産物マップを作成し、食育関連イベントで配布しました。裏表紙には、地産地消の推進を目的とし、国家戦略特区制度を活用して2018年にオープンした2軒の農家レストランも紹介させていただきました。

●活動の成果、今後の課題

第17回食育推進全国大会や3年ぶりに開催された常滑市農業まつりで、参加者に配布しました。地元農畜水産物について学び、地産地消について意識してもらう機会となりました。今回パンフレットとともに、鬼崎海苔や知多米を配布したように、今後もより効果的に地産地消について発信・周知する方法を探っていきたいと考えております。

●新規取組について

2022年6月に愛知県常滑市で開催された第17回食育推進全国大会をきっかけとして、常滑市内外問わず、常滑のおいしい農畜水産物を知っていただくため、パンフレットを作成することになりました。



取組項目：食育推進資料・食育グッズの作成や各種調査（取組場面：地域）

## 2 多様な関係者による役割分担とネットワークの活用

### 食生活改善事業「寄り道 栄養プチレッスン」

春日井市、株式会社良品計画

●実施時期：①2022年7月26日、②2023年1月27日

●対象者：市民

●内 容

市民の健康づくりを推進するため、株式会社良品計画と連携して講座を実施しました。国内に数箇所しかない無印良品店舗内のキッチンカウンターを利用し、健康増進課の管理栄養士とヘルスマイト（春日井市食生活改善協議会）が30分程度で健康を意識したメニューの紹介、調理及び試食配付をしました（要申込、定員30名）。過去2回の実施では、中年男性の肥満予防メニュー（キャベツとひき肉のトマトミルフィーユ）と若年女性のやせ防止メニュー（サラダチキンと根菜のめかぶスープ）を調理しました。

●活動の成果、今後の課題

過去2回の参加者数は①30名、②19名でした。2回目はアンケートを実施し、「手軽にできる」「食材の組み合わせが斬新」等の意見が出て好評でした。また、無印良品で講座を行うことで、若い世代や男性にも啓発をすることができました。

今後も「簡単」「時短」を意識した、実践しやすいメニューの紹介をしていきたいです。



取組項目：行政、団体、教育機関、企業等との連携による食育活動の場の提供（取組場面：地域）

## 食育メッセ 2022

岡崎市

- 実施時期：8月～9月
- 対象者：市民
- 内 容

第3次岡崎市食育推進計画の最終年度の評価として、計画期間中に注力し取組をした重点事項等の成果の集大成を市民に周知し、市全体で食育の推進を図ることを目的としました。施設見学や農業体験、料理教室、食育講演会などの食育企画を様々な実施主体と連携を図りながら地域分散型で行い、市内の様々な場所で食育を学び・実践し・継承する機会をつくりました。

### ●活動の成果、今後の課題

開催方法を1か所集合型のイベントではなく、地域分散型としたことで、コロナ禍ではありましたが、農業体験などさまざまな企画を実施することができました。募集定員を超える応募のあった企画が多く、市民が食育について考えるきっかけとなりました。より多くの事業所と協働し、市全体のイベントとなるよう、引き続き多様な関係者と連携、協力できる体制を構築していく必要があります。

- 連携について(連携先：岡崎まちゼミの会、岡崎市食品衛生協会等関係団体・事業者)

分散型のイベントを開催するにあたり、市の中心地域で事業者それぞれの専門性をいかした分散型の企画を開催している岡崎まちゼミの会と連携、共催し実施しました。第3次食育推進計画の集大成としてのイベントであることから、これまでのつながりを活かし、協働事業実施団体・事業者、協定事業者等などと連携・協働し食育メッセ2022の企画を実施しました。



取組項目：行政、団体、教育機関、企業等との連携による食育活動の場の提供  
(取組場面：地域)

## 地産地消啓発イベント（愛知県立安城農林高等学校）

安城市

- 実施時期：1月
- 対象者：市民
- 内 容

「食（食育）」に関わりが深い愛知県立安城農林高等学校の生徒が生産した農作物や加工品、プロジェクトの学びの発表の場として市役所食堂を提供しました。また、安城農林高校の活動を通じて市民へ地産地消を啓発しました。

### ●活動の成果、今後の課題

食堂が安城農林高校産の農産物や加工品を使用したメニューを提供することで、農林高校と市民がつながる貴重な機会となっています。

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、生徒による販売は中止し、教諭が対応しました。

- 連携について(連携先：(株)勤労食、愛知県立安城農林高等学校)

(株)勤労食から地元農業高校で生産された農産物が利用できないか相談があり、市が高校へ働きかけました。



取組項目：行政、団体、教育機関、企業等との連携による食育活動の場の提供  
(取組場面：地域)

### 3 いいともあいち運動の推進と充実

#### いいともあいち地産地消デジタルスタンプラリーを実施

愛知県食育消費流通課

- 実施時期：2022年11月1日～2023年1月31日
- 対象者：県民
- 内容

地産地消のより一層の推進を図るため、「地産地消あいちデジタルスタンプラリー」を実施しました。

県産農林水産物を積極的に扱う産地直売所や飲食店等の「いいともあいち推進店」を巡ってスタンプを2個以上集め、特設Webサイトから応募された方のうち、抽選で100名に、愛知の特産品等をプレゼントしました。デジタルスタンプラリーは、県内の「いいともあいち推進店」156店舗で実施され、延べ3,000名以上に参加いただきました。

#### ●活動の成果、今後の課題

産地直売所や飲食店等に足を運び、県産農林水産物の購入などを体験していただくことで、地産地消の一層の理解促進と実践を促すことができました。今後も同様の取組を継続し、より多くの県民が県産農林水産物に接し、継続的に購入できる機会を創造していきたいと考えています。

#### ●デジタル化の推進について

スマートフォンやタブレットを活用して気軽に参加できるよう、特設Webサイトを開設し、デジタル方式によるスタンプラリーを実施した。また、Webコンテンツへの誘導やSNSとの連動等、他のデジタルコンテンツと相乗効果が図るよう工夫しました。



取組項目：いいともあいち推進店の拡充など県産品の購入・消費の機会の拡大  
(取組場面：地域)



#### 「いいともあいち運動」って知ってる？

県内の消費者と生産者が  
今まで以上にいい友関係になる

[ Eat more Aichi products ]  
(イート モア アイチ プロダクツ)

もっと愛知県産品を食べよう(利用しよう)





## IV 県や関係団体の取組一覧

2022年度に県や関係団体などが実施した、食育の取組で報告のあった251件の一覧は次のとおりです。「Ⅲ 2022年度の主な取組の状況」で紹介した取組以外の各取組の詳細については、愛知県食育消費流通課までお問い合わせください。

食を通じて健康な体をつくる 		
ライフスタイルに即したバランスのとれた食生活の実践		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
尾張旭市	離乳食教室	7
東浦町健康福祉部健康課（保健センター）	赤ちゃん教室 もぐもぐ編	
東浦町健康福祉部健康課（保健センター）	赤ちゃん教室 かみかみ編	
刈谷市中央子育て支援センター・南部子育て支援センター・北部子育て支援センター	おやつのレシピ紹介及び配布	
刈谷市中央子育て支援センター・南部子育て支援センター・北部子育て支援センター	食育に関する子育て講座の開催	
刈谷市中央子育て支援センター・南部子育て支援センター・北部子育て支援センター	離乳食レシピの回覧及び配布	
刈谷市南部子育て支援センター	畑の栽培や収穫を通して野菜に親しもう	
春日井市立坂下北保育園	食育指導	
春日井市立第二保育園	食育指導、野菜栽培、今日の献立、歯磨き指導	8
尾張旭市立川南保育園	2歳児のベビーリーフ栽培	
長久手市	上郷保育園栄養士による食育活動	
大口町	食育情報の共有と町制60周年記念給食の発信（食育担当者実務者会議）	8
武豊町役場子育て支援課	懐かしの味「六貫山たくあん」を漬けよう	
碧南市社会協議会 西端保育園	碧南人参の日	
愛知県栄養教諭研究協議会	学校で使用する食育教材「あいちの農産物資料集」を活用した地産地消の推進	
南知多町教育委員会	食に関する指導	
刈谷市学校給食センター	家庭科授業「どんな食事がよいのか考えようの学習」	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
刈谷市学校給食センター	小学校2年生を対象とした給食訪問指導「食まるパワーのひみつを知ろう」	9
刈谷市学校給食センター	「食生活に関するアンケート」の実施	
豊橋市立くすのき特別支援学校	くすっ子、花まるごはんで元気アッププロジェクト	9
半田市児童体験農業実行委員会他	児童体験農業	
岡崎市	おかざき健康・食育だより「まめ吉通信」	
碧南市経済環境部商工課	醸造のまち継承事業	
碧南市立大浜小学校、棚尾小学校、中央小学校、日進小学校、鷺塚小学校	ニンジン講習会	
西尾市産業部農水振興課	良いきゅうりの日～ふれあい授業と学校給食への寄贈～	
西尾市産業部農水振興課	西尾市観光協会食部会による食育講座	10
長久手市	給食センター施設見学試食会	
長久手市	給食だよりの発行	
岡崎市教育委員会学校給食センター	学校給食レシピ紹介	10
愛知県小中学校長会 給食委員会	小中学校の食育に関する先進的取組事例の紹介	11
尾張旭市、尾張旭市教育委員会	健康朝食メニュー「簡単！野菜もプラス！朝ごはん～元気のスイッチを入れよう～」（公募）	
長久手市、食と健康を考える会	朝食講座	
豊橋市保健所こども保険課	食生活について考えよう	
豊橋市	成長期のスポーツ栄養セミナー	
豊田市	高校生向けオンライン授業の実施	
愛西市食育推進専門部会	男子自立クッキング	
尾張旭市	ヤングのうちから健康みつめ隊	
津島市	YouTubeによる食育の発信	
みよし市	食育講演会	
田原市農政課	高校生朝ごはんプロジェクト	11

取組主体、団体名	取組名称	ページ
生活協同組合コープあいち	『BDHQ』・『ベジチェック』を使った食を通じた健康づくり支援	
北名古屋市保健センター（食生活改善推進協議会・北名古屋市役所生涯学習課）	「おうちごはん」を考えよう！働く世代のバランス献立 立て方講座	12
蟹江町	「時間栄養学」講座	
豊橋市	I C Tを活用した糖尿病予防	
カゴメ株式会社、エーテンラボ株式会社、神奈川県立保健福祉大学、豊橋市	健康経営向けSDGs貢献につながる みんなで野菜食べようチャレンジ	12
尾張旭市	妊産婦栄養教室 だし活のすすめ～おうちで和食～	
岩倉市	ブレママと産後ママの交流会	13
長久手市、食と健康を考える会	離乳食教室	
尾張旭市長寿課	シニアのための栄養講座	
東郷町	65歳の方のための出張講座「シニア世代に必要な食事～低栄養予防って？～」	
東郷町	男性のための料理教室 簡単・おいしい・栄養満点教室	
東郷町	メタボ対策からフレイル予防へギアチェンジの巻 これで体丈夫（だいじょうぶ）教室	13
碧南市健康推進部健康課	高齢者への糖尿病予防レシピ配布と試食	
刈谷市	65歳からのやさしい栄養教室	
刈谷市教育委員会生涯学習課	地域を学ぶ講座	
春日井市	春日井市配食サービス利用助成事業	14
半田市福祉部健康課	健康サポーター養成講座	

### 生活習慣病予防や適正体重維持の推進

取組主体、団体名	取組名称	ページ
豊橋市立くすのき特別支援学校	特別支援学校における児童生徒に対する肥満指導（食生活改善）	
刈谷市学校給食センター	「生活習慣病の予防」を取り上げた授業の実施	
一般社団法人 愛知県歯科医師会	第12回もっと噛んで歯ッピーレシピコンテスト	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
一般社団法人愛知県歯科医師会	第17回食育推進全国大会inあいちへの参画	14
日進市健康福祉部健康課	プチ食育・プチむし歯予防講座	
大府市健康づくり食育推進協議会	噛むカム幼児教室	15
尾張旭市	あなたのためのちょいやせ道場	
尾張旭市	糖尿病重症化予防教室 STOP!糖尿病	
尾張旭市	タニタ健康づくり教室	15
豊明市健康推進課、食生活改善推進委員	とよあけヘルシーレシピの普及	
半田市福祉部健康課	野菜の手ばかり目ばかり	16
東海市	料理レシピサービス「クックパッド」を利用したメニューの情報発信	16
知多市健康推進課	野菜を食べようプロジェクト「野菜たっぷり!!ヘルシーメニュー」	17
豊橋市保健所 健康増進課	食改さんのヘルシークッキング	
岩倉市食の健康づくり推進員	健康フェア（市民ふれ愛まつり）	
知多市健康推進課	食育の日啓発キャンペーン「はじめよう!朝ベジ習慣」	
安城市	旬の食材を使用したレシピの提供	

食の安全・安心に関する信頼の構築		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県県民生活課	消費生活モニターに対する情報提供	
一般社団法人愛知県薬剤師会	健康食品に関する情報提供	17
尾張旭市	食育推進講演会及び学校給食試食会	
尾張旭市	給食センター見学	
愛知県子育て支援課	保育士等キャリアアップ研修	
尾張旭市立西部保育園	尾張旭市学校給食センターの見学	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
尾張旭市	あさびースマイル給食	
日進市	保育園給食献立表への食物アレルギー啓発記事の掲載	18
岡崎市	食物アレルギーに対する理解を深める	
へきなんこども園	除去食	
小牧市	「ユニバーサル給食」の実施	18
岩倉市	乳と卵の除去食の提供	

## 食を通じて豊かな心を育む



### 食を楽しむゆとりの積極的な確保

取組主体、団体名	取組名称	ページ
春日井市立岩成台保育園	食材への興味・関心を引き出す取組	
春日井市青少年子ども部保育課 玉川保育園	和食の日の献立を通して和食に関心・興味をもつ	19
春日井市立上八田保育園	日常保育における食育	
春日井市立前並保育園	食育指導 野菜、稲の栽培	
春日井市立大手保育園	園内で野菜等の栽培 食育の日（行事食）	
春日井市立桃山保育園	野菜の栽培・収穫・地域交流	
春日井市立藤山台保育園	野菜の栽培	
春日井市立柏原西保育園	月1度開催の「食育の日」と園内で野菜等の栽培	
春日井市立白山保育園	おにぎり作りを通して、食への興味や関心を高める	
春日井市立味美保育園	給食の展示	
尾張旭市立藤池保育園	子どもたちの食への興味・関心を広げ、食べる意欲に繋げていく	
日進市	食材に親しむ体験の実施	20
愛西市立佐屋中央保育園	献立ボードをつくろう！	20

取組主体、団体名	取組名称	ページ
阿久比町	学校給食週間での郷土料理体験	
へきなんこども園	献立について	21
社会福祉協議会 棚尾保育園	碧南人参の日	
碧南市立鷲塚保育園	おやつ野菜の皮むき体験	
刈谷市立双葉保育園	給食サンプルの展示、小玉メロン・小玉スイカの栽培・収穫	
岩倉市	「いわくらをたっぷり味わおう週間」	21
安城市	SNSを利用した食育啓発事業	
安城市	地元農畜産物通販サイト「おいしいあじょう」	

### 体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進

取組主体、団体名	取組名称	ページ
豊橋市	フィンランド式食育体験	22
春日井市立貴船保育園	野菜を育てよう	
春日井市立出川保育園	野菜栽培	
春日井市立 坂下南保育園	野菜の栽培・収穫体験 地域交流	
春日井市立第一保育園	どんな野菜を育てよう	
春日井市立勝川北部保育園	保護者、園児に向けた給食の展示	
春日井市立松原保育園	スイカの栽培・美食	
春日井市立神領保育園	野菜の栽培	
春日井市立瑞穂保育園	食育・野菜の栽培	
春日井市立追進保育園	育てたスイカの実食	
春日井市立柏原保育園	夏野菜の栽培	
尾張旭市立中部保育園	ホットケーキの調理体験	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
尾張旭市立本地ヶ原保育園	野菜の栽培	22
尾張旭市立西山保育園	野菜の栽培	
尾張旭市立あたご保育園	野菜の栽培・調理の手伝い	
尾張旭市立柏井保育園	さつまいもの栽培・調理	
長久手市	長湫東保育園 園児のカレー作り	
東郷町立中部保育園	野菜の栽培から旗作りへ	
東郷町立和合保育園	野菜作りを通して、食への関心を育てる	
豊山町立富士保育園	園としての食育計画 ～お祝いの赤飯を作ろう～	23
愛西市立保育園（佐屋北・佐屋中央・佐織）	魚おろし見学	
蒲郡市子育て支援課	夏の野菜を知ろう！育てよう！食べてみよう！	
へきなんこども園	家庭菜園・稲作	
碧南市立羽久手保育園	保育園で野菜を育てよう	
碧南市社会福祉協議会 荒子保育園	地域の方と触れ合う収穫体験	
碧南市社会福祉協議会 大浜保育園	夏野菜の栽培	
碧南市立棚尾幼稚園	再青会（地区の高齢者）の方との交流と収穫体験	
碧南市立築山保育園	野菜を育てて	
碧南市立天道保育園	ブロッコリーの栽培	23
二葉保育園（碧南市）	野菜の栽培体験	
碧南市立日進保育園	ふれあい農園での玉ねぎ苗さし体験	
碧南市地産地消推進協議会（碧南市健康づくり食ボランティア協議会、生活協同組合コープあいち）	エプロンシアターの開催	
刈谷市立富士松南保育園	野菜を育てよう	
刈谷市立さくら保育園	野菜を栽培、収穫してみんなで食べよう！	
刈谷市立かりがね保育園	野菜を栽培。収穫して食べよう	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
刈谷市立日高幼稚園	野菜栽培	
刈谷市立富士松北幼稚園	J A あいち中央と連携しての大根栽培	
吉浜さんさん保育園（高浜市）	さつまいもの栽培・収穫をして調理しよう	24
愛知県食生活改善推進員協議会<豊橋市食生活改善協議会>	豊橋市「食育教室 三つのお皿」	
一宮市保健所 健康支援課	こどもクッキングいちのみや	24
江南市	親と子の栄養教室	25
尾張旭市	夏休み！親子で探検給食センターわくわくツアー	
飛島村健康づくり食生活改善協議会	おやこの食育教室	
蒲郡市農林水産課	親子魚料理教室	25
碧南市民図書館中部分館	スペシャルおはなし会「やさいのおはなしと手形スタンプを楽しもう」	
西尾市産業部農水振興課	地産地消！親子でさつまいも掘り	
西尾市産業部農水振興課	米づくり体験授業	
幸田町	幸田町子ども食育体験教室	26
蒲郡市農林水産課	蒲郡子ども農業教室	
公益財団法人愛知県学校給食会	2022 あいちの味覚たっぷり！わが家の愛であ朝ごはんコンテスト	
愛知県教育委員会保健体育課、公益財団法人愛知県学校給食会東海学園大学	あいちの味覚たっぷり！わが家の愛であ朝ごはんコンテスト	
尾張旭市	あったらいいなこんな給食	
愛西市教職員会 栄養教諭部会	あいさいさん☆給食コンクール	
岡崎市	学校給食メニューコンクール	
刈谷市	「家族でほっこり さといもさん家の絶品レシピ～しょくまる5人をそろえよう～」コンテスト	26
西尾市産業部農水振興課	僕・私が作る！アイデア朝ごはんコンテスト	
日本労働組合総連合会愛知県連合会	ここあファーム『親子 de 農体験』	
豊橋市	食農教育推進イベント	



取組主体、団体名	取組名称	ページ
春日井市、T・I・Tふれあい農園共同体（ふれあい農業公園指定管理者）	稲作体験	27
春日井市、T・I・Tふれあい農園共同体（ふれあい農業公園指定管理者）	あい農パーク春日井（春日井市ふれあい農業公園）	
日進市農政課	日進アグリスクール（農学校）の開催	
長久手市	食育イベント（ラムネ作り体験・おやつに関する紙芝居など）	27
刈谷市	親子農業体験教室・親子農作物収穫体験教室	
西尾市産業部農水振興課	親子で稲刈り体験&ポン菓子づくりをしてみよう！	
西尾市産業部農水振興課	魚をみて・さわって・さばいて食べよう！親子で魚食教室	
豊川市産業環境部農務課	第10回とよかわおもてなしレシピグランプリ！	28
東郷町	親子で有機野菜づくり体験	
一般社団法人愛知県薬剤師会	あいち健康の森薬草園イベント	

### 日本の食文化や郷土料理等の理解と継承

取組主体、団体名	取組名称	ページ
蒲郡市学校給食課	応募献立の募集・実施	
愛知県教育委員会保健体育課	愛知を食べる学校給食の日	
弥富市小中学校	地元の旬を味わう和食給食の日	28
あま市	「愛知を食べる学校給食の日」の実施	
刈谷市学校給食センター	刈谷市産の食材を使用した献立の実施	
西尾市産業部農水振興課	愛知を食べる学校給食の日～JA西三河から新鮮野菜寄贈～	
西尾市産業部農水振興課	道の駅にしお岡ノ山における「驛弁 西尾の郷土料理詰め込みました」の販売	29
尾張旭市	農政講座「米粉ケーキサレ作り」「キャラ弁作り」「みそ作り」	
日進生活改善実行グループ・日進市農政課	伝承料理レシピの紹介	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
日進生活改善実行グループ・日進市農政課	伝承料理講習会・親子伝承料理講習会	
長久手市	味噌づくり体験	
長久手市平成こども塾	学校連携事業	
東郷町役場健康推進課	郷土料理・行事食周知	
扶桑町、扶桑町守口大根漬物組合、(株)扶桑守口食品	守口大根収穫体験及び粕漬け体験学習	29
岡崎市	食文化継承料理講習会	
西尾市産業部農水振興課	地産地消！コンニャクをつくろう	
西尾市産業部農水振興課	地産地消！親子でうどんを打とう	
みよし市	食育推進事業～手作りおこしもんでひなまつり～	30

## 食を通じて環境に優しい暮らしを築く



### 食生活における環境への配慮の徹底

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県環境調査センター	中高年・シニア環境学習推進事業	
愛知県環境活動推進課	環境学習副読本「わたしたちと環境」の作成・配布	
愛知県資源循環推進課	食品ロス削減環境学習プログラムによる普及啓発の実施	
刈谷市学校給食センター	中学校1年生を対象とした給食訪問	
日進市	無農薬・有機栽培お米作りの1年を体験しよう	
オリーブ協議会	研修会「体によい・環境にもやさしい食品の選び方を考えよう」	31
刈谷市	エコ料理講座	
愛知県県民生活課	消費生活情報「あいち暮らしっく」の発行	
愛知県環境活動推進課	あいちエコアクション・ポイント事業	32
愛知県環境活動推進課、企業、環境配慮団体	東海三県一市グリーン購入キャンペーン	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
尾張旭市	家庭用生ごみ処理機等購入補助	
愛知県県民生活課	エシカル消費普及啓発事業	
愛知県資源循環推進課	食品ロス削減イベントの開催	
春日井市、かすがい環境まちづくり パートナーシップ会議、東邦ガス ネットワーク株式会社	親子で楽しくエコ・クッキング	
尾張旭市	3キリ運動	
新城市	クッキング教室	32
愛知県産業振興課	環境啓発用パンフレット作成	
日進市環境課	フードドライブの実施	
豊橋市環境部ゼロカーボンシティ推 進課	食品ロス削減のための「かん田きょう子さん」オリジナルPOPとマグネット無料配布キャンペーン	

### 農林水産業への理解と地産地消の推進

取組主体、団体名	取組名称	ページ
J A 愛知中央会	農業教育用資料「愛知の農業」（冊子・DVD）の作成・配布	
愛知県農地計画課	あいちの農業用水展	33
愛知県農地計画課	農地・水・環境のつどい	
瀬戸地域アグリカルチャー推進協議 会	学校給食への地場食材利用拡大	
へきなんこども園	碧南人参の日の食育活動	
愛知県水産課	「あいちのおさかなカードキャンペーン」の実施	
J A 愛知中央会	J A 農産物直売所情報誌「フレ」の作成・配布	33
尾張旭市	ふれあい給食	
美浜町学校給食センター	第3回目「愛知を食べる学校給食の日」実施 美浜町学校給食週間 「見直そう！地域の食材～地産地消で自給率アップにつ なげよう～」	34
美浜町役場産業課、健康・子育て課、 学校給食センター	有機農業の日に合わせ学校給食で地元有機栽培野菜を提 供	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
碧南市学校給食センター	地場産物「赤しそ」・「味来」を使った給食献立	
みよし市	まるっと愛知県産給食	
安城市	旬の食材を使用したメニューの販売	
安城市	地産地消の啓発	
安城市	おいしいあんじょうアンバサダー	
安城市	安城市オリジナルおつまみソースの開発	34

### 農林水産業や食品関連産業における環境への配慮の徹底

取組主体、団体名	取組名称	ページ
豊橋市	環境保全型農業直接支払事業補助金	
愛知県水産課、県内漁業者	県内における資源管理の促進	
東郷町役場環境課	フードドライブ	
日本労働組合総連合会愛知県連合会	ここあファーム	
小牧市	ドライブスルー型「フードドライブ」の実施	35

### 食育を支える



#### 食育にかかる人材の育成と活動の充実

取組主体、団体名	取組名称	ページ
美浜町役場健康・子育て課 子育て支援係 栄養士	保育所給食訪問	
へきなんこども園	食育カリキュラム	
愛知県小中学校長会 給食委員会	小中学校の食育推進体制等に関する実態調査とその報告	
愛知県知多農林水産事務所	知多地域食育推進ボランティア研修交流会	
愛知県東三河農林水産事務所	東三河地域食育推進ボランティア研修交流会	36

取組主体、団体名	取組名称	ページ
稲沢市健康推進課	稲沢市食生活改善員活動支援	
岩倉市	岩倉市食の健康づくり推進員研修会	
愛知県漁業士協議会	料理講習会による魚食普及活動	
常滑市	食育啓発用パンフレットの作成・配布	37
西尾市産業部農水振興課	食育啓発用グッズの作成	

### 多様な関係者による役割分担とネットワークの活用

取組主体、団体名	取組名称	ページ
春日井市、株式会社良品計画	食生活改善事業「寄り道 栄養プチレッスン」	37
日進市農政課・日進生活改善実行グループ・日進野菜研究会・ハーブの小径	第17回食育推進全国大会への出展	
岡崎市	食育メッセ2022	38
安城市	地産地消啓発イベント（愛知県立安城農林高等学校）	38
安城市	名古屋文理大学との連携事業	
安城市	愛知学泉大学との連携事業	
長久手市、長久手市社会福祉協議会	地域の活動拠点の提供	

### いいともあいち運動の推進と充実

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県食育消費流通課	いいともあいち地産地消デジタルスタンプラリーを実施	39

# V 食育推進に関する問い合わせ先

## ◎愛知県

名 称	電話・ファクシミリ	Eメール・URL
農業水産局農政部 食育消費流通課 (総合窓口、農林水産関係)	TEL 052-954-6396 FAX 052-954-6940	E-mail shokuiku@pref.aichi.lg.jp URL <a href="https://www.pref.aichi.jp/shokuiku/">https://www.pref.aichi.jp/shokuiku/</a>
保健医療局健康医務部 健康対策課 (健康福祉関係)	TEL 052-954-6271 FAX 052-954-6917	E-mail kenkotaisaku@pref.aichi.lg.jp URL <a href="https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/">https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/</a>
教育委員会事務局教育部 保健体育課 (教育関係)	TEL 052-954-6839 FAX 052-954-6965	E-mail hoken-taiiku@pref.aichi.lg.jp URL <a href="https://www.pref.aichi.jp/soshiki/hoken-taiiku/">https://www.pref.aichi.jp/soshiki/hoken-taiiku/</a>

## ◎関係団体等

名 称	電 話	Eメール・URL
愛知県栄養教諭研究協議会	-	<a href="https://www.aichi-ek.com/">https://www.aichi-ek.com/</a>
愛知県漁業協同組合連合会	052-971-3501	
愛知県経営者協会	052-221-1931	<a href="https://www.aikeikyo.com/">https://www.aikeikyo.com/</a>
愛知県国公立幼稚園・こども園長会	052-892-2616	(問合せ先 名古屋市立鳴子幼稚園)
愛知県小中学校PTA連絡協議会	052-251-8820	<a href="http://www.aichi-syoucyuu-p.com/">http://www.aichi-syoucyuu-p.com/</a>
愛知県小中学校長会	052-261-8152	<a href="http://aikochu.ec-net.jp/">http://aikochu.ec-net.jp/</a>
愛知県食生活改善推進員協議会	052-954-6271	(問合せ先 県健康対策課内)
愛知県農業協同組合中央会	052-951-6940	<a href="https://www.chu.aichi-ja.or.jp/">https://www.chu.aichi-ja.or.jp/</a>
愛知県農業経営士協会	052-954-6412	(問合せ先 県農業経営課内)
愛知県酪農農業協同組合	0564-53-2450	
愛知消費者協会	052-962-2530	
一般社団法人愛知県歯科医師会	052-962-8020	<a href="https://www.aichi8020.net/">https://www.aichi8020.net/</a>
一般社団法人愛知県調理師会	052-913-5271	<a href="http://aichi-chori.or.jp/">http://aichi-chori.or.jp/</a>
一般社団法人愛知県薬剤師会	052-953-4555	<a href="https://www.apha.jp/">https://www.apha.jp/</a>
公益財団法人愛知県学校給食会	0562-92-3161	<a href="http://aigaku.org/">http://aigaku.org/</a>
公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団	0562-82-0203	<a href="http://www.ahv.pref.aichi.jp/ahpf/index.htm">http://www.ahv.pref.aichi.jp/ahpf/index.htm</a>
公益社団法人愛知県医師会	052-241-4138	<a href="https://www.aichi.med.or.jp/">https://www.aichi.med.or.jp/</a>
公益社団法人愛知県栄養士会	052-332-1113	<a href="https://www.aichiken-eiyoushikai.or.jp">https://www.aichiken-eiyoushikai.or.jp</a>
社会福祉法人愛知県社会福祉協議会保育部会	052-212-5509	<a href="https://www.aichi-fukushi.or.jp/">https://www.aichi-fukushi.or.jp/</a>
生活協同組合コープあいち	052-703-6022	<a href="http://coopaichi.tcoop.or.jp/">http://coopaichi.tcoop.or.jp/</a>
日本労働組合総連合会愛知県連合会	052-684-0005	<a href="https://www.rengo-aichi.or.jp/">https://www.rengo-aichi.or.jp/</a>
農村輝きネット・あいち	052-954-6409	(問合せ先 県農業経営課内)

**愛知県食育推進会議**

**事務局** 愛知県農業水産局農政部食育消費流通課  
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 052-954-6396（ダイヤルイン）

E-mail [shokuiku@pref.aichi.lg.jp](mailto:shokuiku@pref.aichi.lg.jp)

Webサイト「食育ネットあいち」

<https://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/>



**ロゴマーク等デザイン**

愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 佐藤直木研究室



食育ネットあいち



<https://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/>